

近代を捉え直す

- ・ 世界史的に見た、世界の現状
- ・ 最新データから見た世界の持続不可能性
 - ・ 江戸を再考する

駒宮博男

まずは、

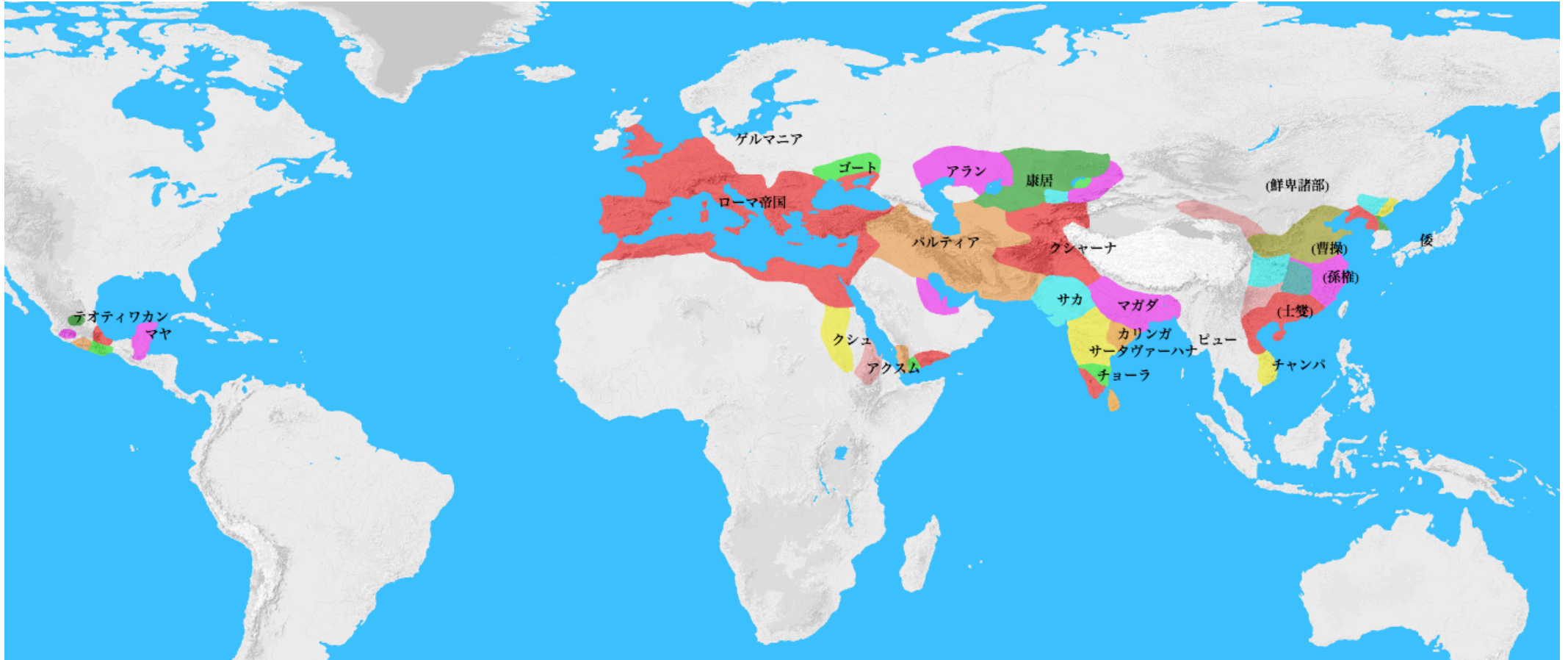
世界全体の有史からの流れを見る

世界の移り変わり 世界地図から世界史を復習する

(「ワールド・ヒストリカル・アトラス」より)

◆地中海沿岸とアジア (インド、中国、中央アジア) で文明が栄えた

211年 ローマ帝国全盛期



◆アメリカがようやく独立、地中海は未だオスマン支配

ヨーロッパ諸国が世界に進出開始

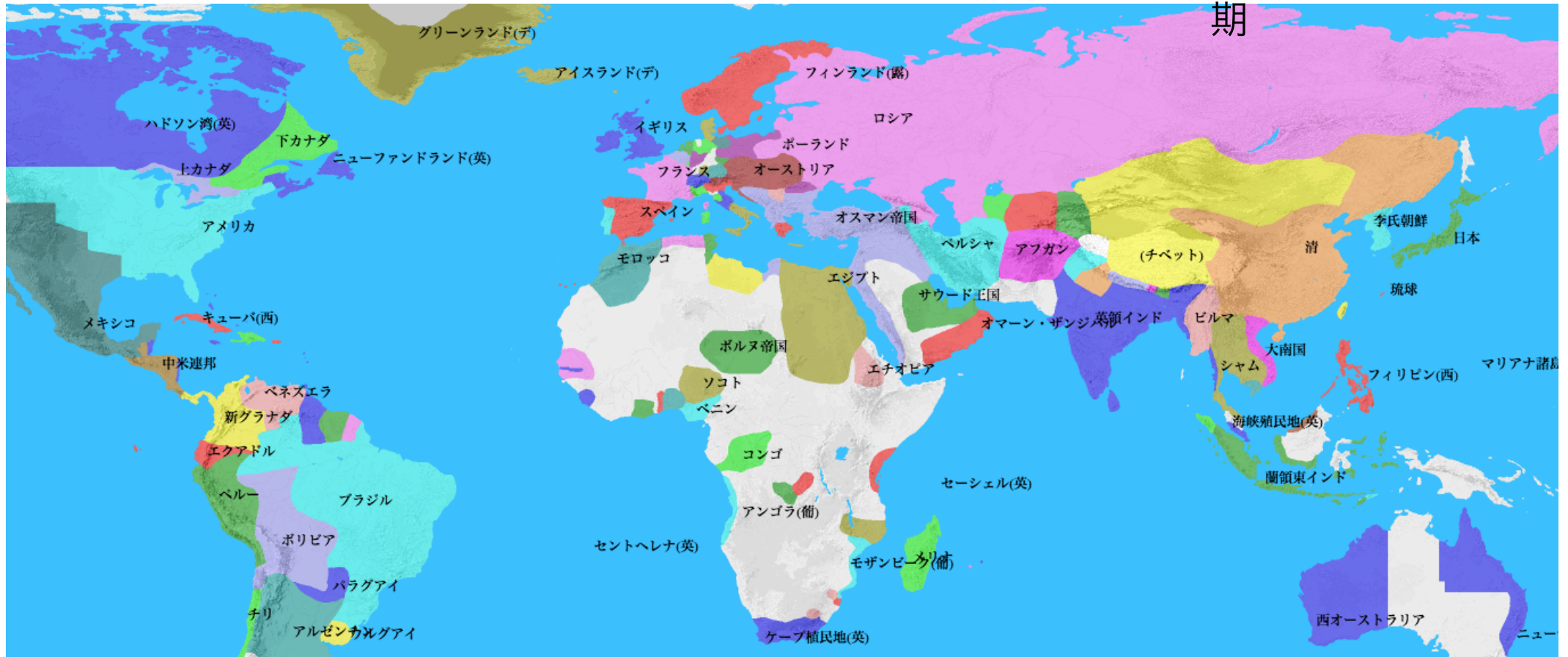
1786年 江戸中期



◆アメリカの拡大、アジアへヨーロッパの魔の手が！

“大英帝国”（海賊国家）が世界各地を植民地化開始

1833年 江戸後
期



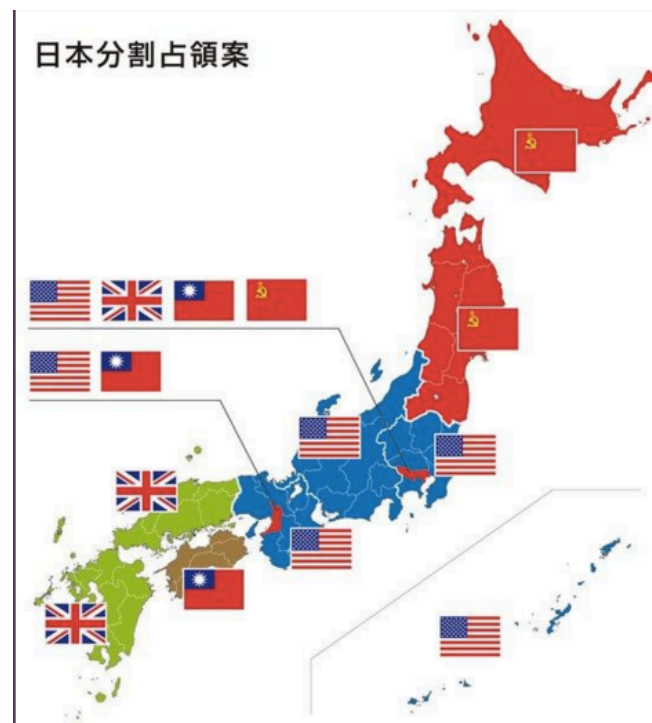
結局、世界はヨーロッパによって分割された



結局は、今回のウクライナ騒動もこの延長線上にあり！

戦後、日本も分割の危機にあった！

JWPC: Joint War Plan Committee
(統合戦争計画委員会)



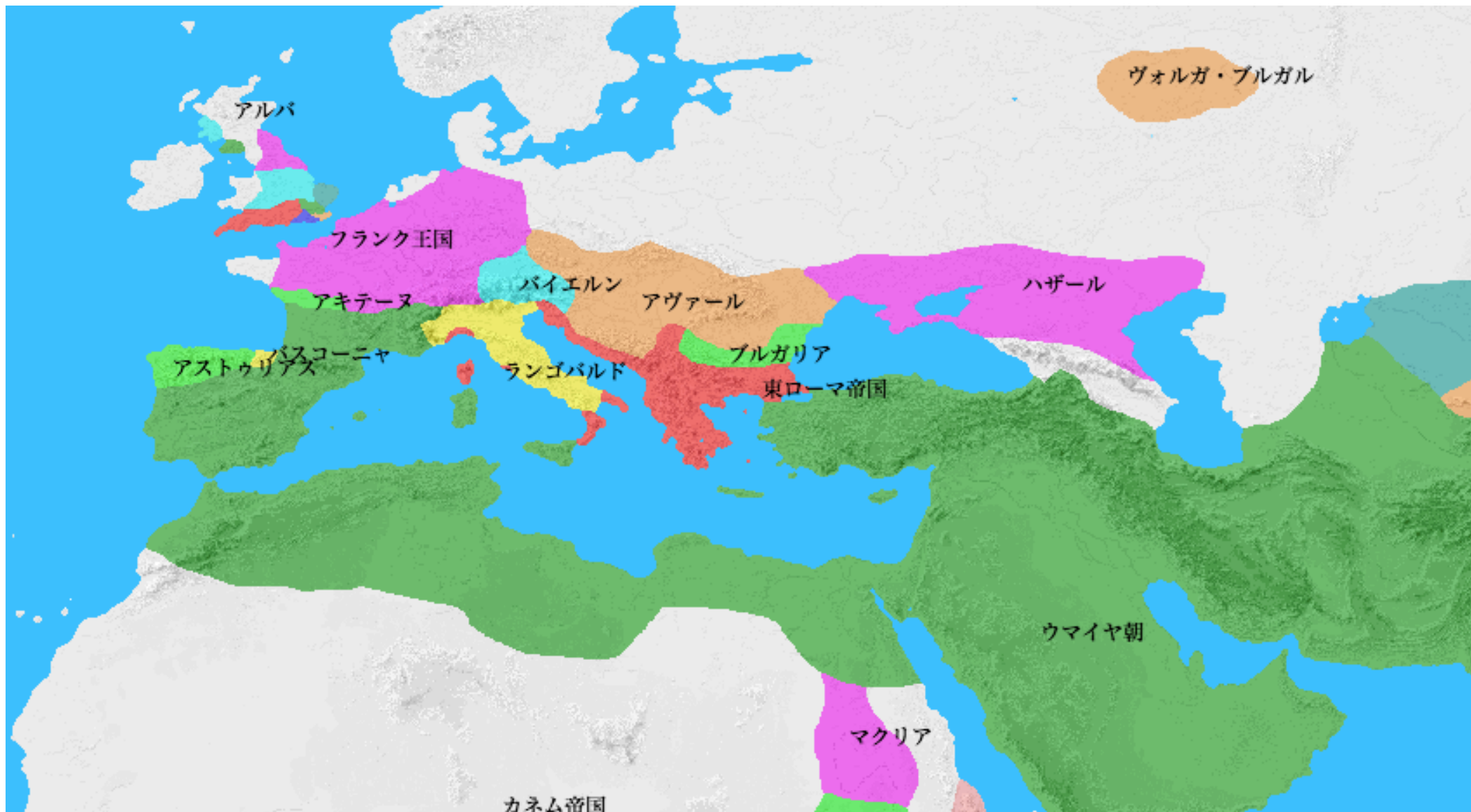
現在の世界を知る上で
もう一つ着眼すべきポイント

近代ヨーロッパを作るきっかけとなった
イスラム世界をちょっとだけ考察

(私のイスラム世界経験 : 4回のパキスタン訪問)
・・・ヒマラヤ奥地の誇り高き人々と接して・・・

◆イスラム帝国であるウマイヤ朝は、スペイン・フランス南部を支配
(イスラム教の成立はAD600年前後。その後幾多の戦争により領土拡大)

731年 ウマイヤ朝 (イスラム帝国) 全盛期

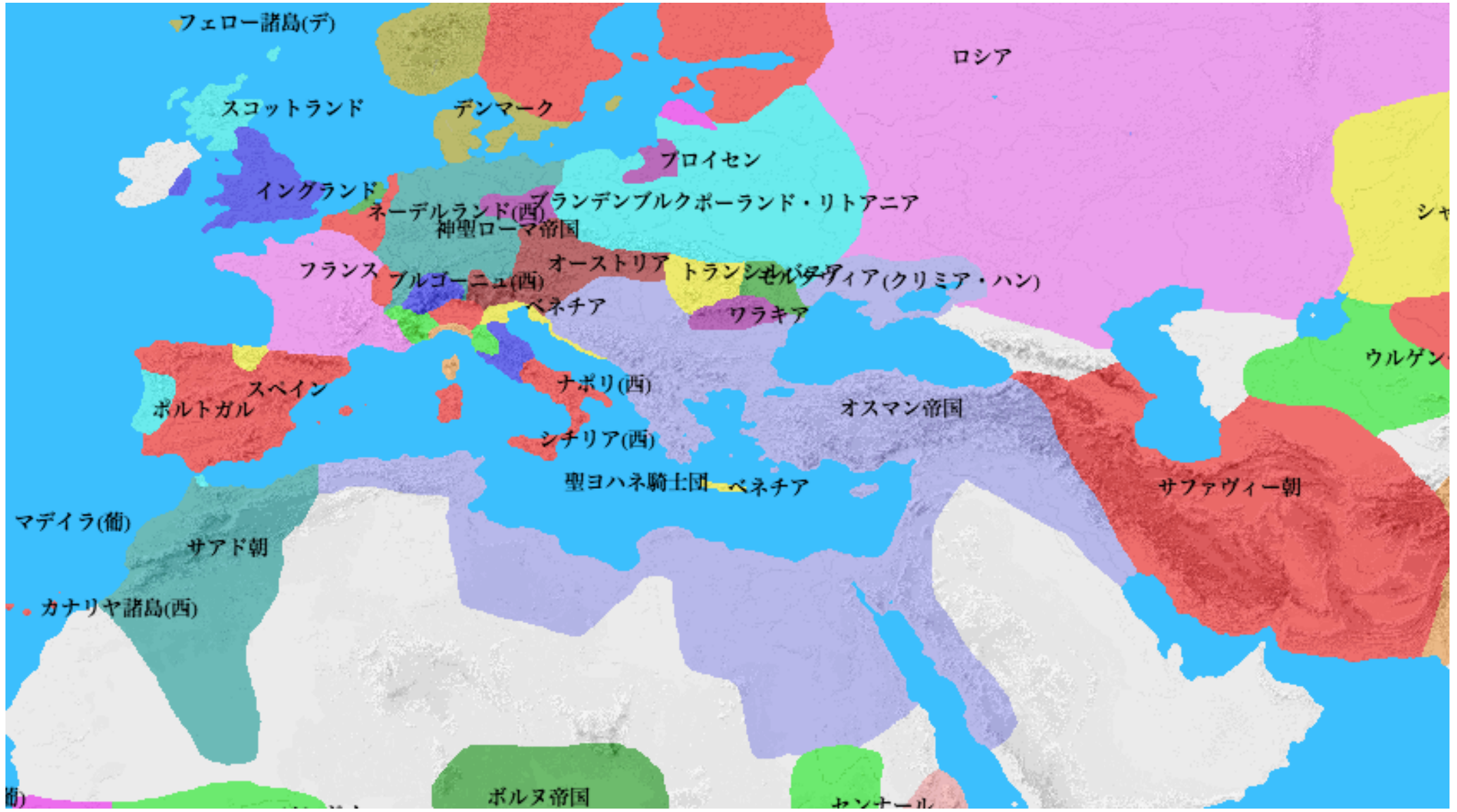


◆大航海が始まって、地中海はイスラム帝国（オスマン）が支配

（その後オスマン帝国は17cより徐々に衰退し、第1次大戦後消滅）

（しかし、イスラム世界は現在でも強大な勢力を保っている）

1575年 オスマン帝国全盛期



大体つかめました？

現在のグローバルイズムとは、
世界のヨーロッパ化、アメリカ化

近代文明 = 欧米の文明

(中世までの歴史的鬱憤を150年ではらした？)

(上手くいけば良かったが、既に大きなほころびが)

なぜ、歴史をもう一度見たか？

それは、現在の近代文明が、
人類にとってあまりにも異常だからです。

人間の寿命は所詮100年。

“異常さ”に気付く人はあまりいません。

だからこそ、
歴史をもう一度振り返る必要がある。

では、

ヨーロッパ化された世界の現状はどうなっているか？

最新のデータに基づく”持続不能性”を見てみよう！

(出典は、[リーズ大学](#)の資料)

リーズ大学：佳子さま、元欧州トヨタ自動車CEOの豊田周平氏等、留学

“ドーナッツ”から、豊かさを問いたです！

(University of Leedsの研究から)

・・・ after COVT-19に関する政策提言・・・

(豊森9期柘植雅敏さんからの紹介)

・・・大元は、『人新生の「資本論」』・・・

本当の大元は、『ドーナッツ経済学』（ケイト・ワラース）

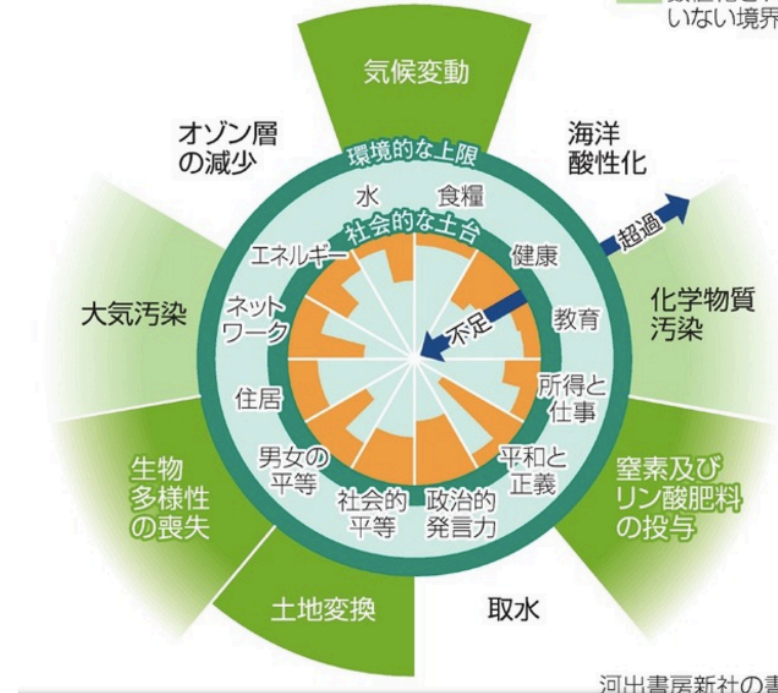
『ドーナツツ経済学』（ケイト・ワラース）とは

ドーナツ経済学の概念図

■ 境文字を表示する
■ 数値化されていない境界線



NHKのサイトより



河出書房新社の書籍

朝日新聞のサイトより



NHKのサイトより

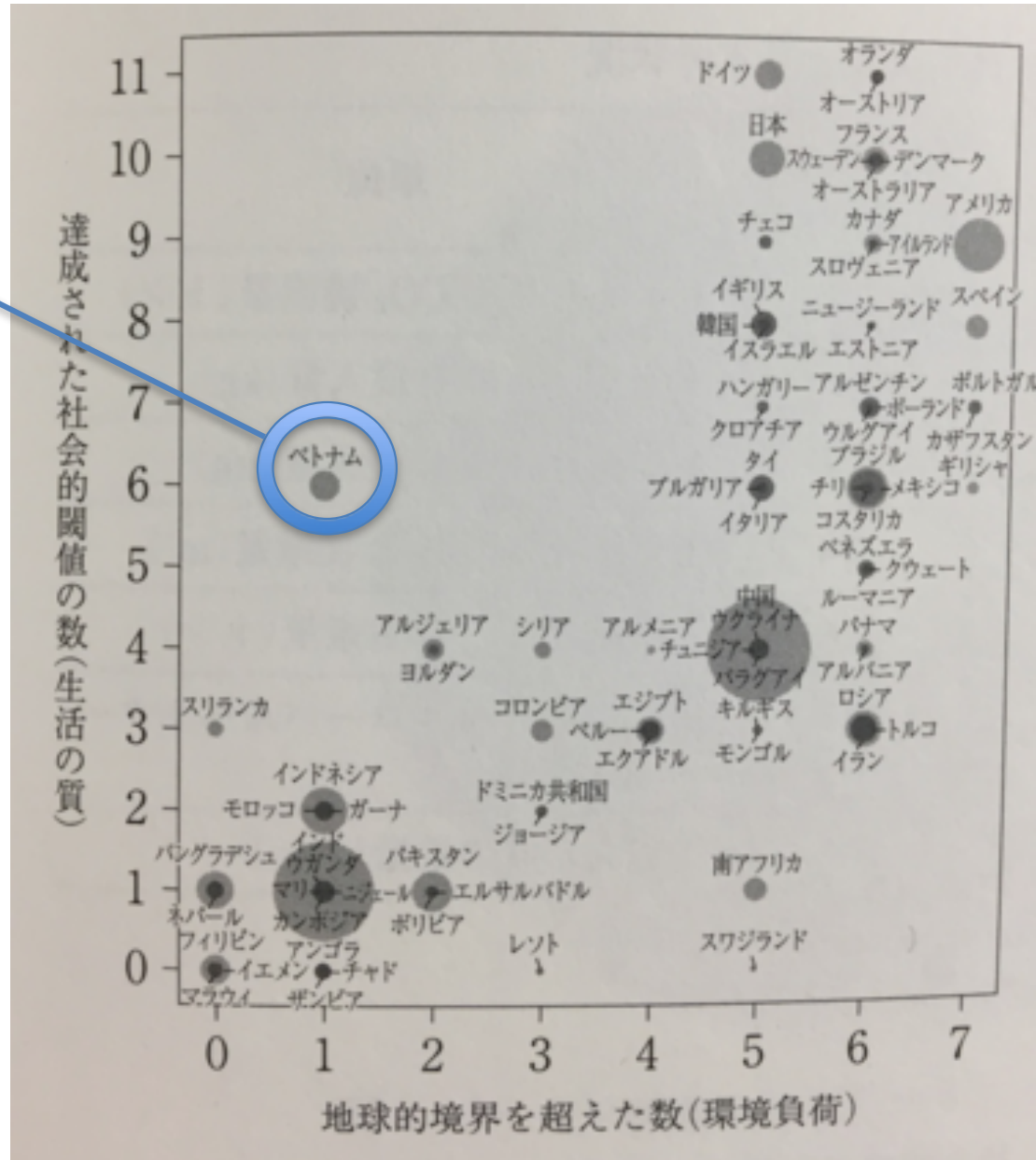
Leeds大学は、何をやったか

- ケイト・ワラースのドーナッツ経済を少々改変し、世界各国の状況を分析
 - ワラース自身、“地球規模”ではなく、“地域規模”の状況把握の必要性を説いている
- ただし、Leeds大学の目的は、英国政府に対する政策提言
 - このスライドでは、この部分は言及しない

資源の浪費と国の豊かさ

(University of Leedsの分析結果を基に (『人新生の資本論』 (齊藤浩平) より))

ベトナムだけ
外れている



環境因子と社会因子の境界条件

Biophysical Indicator	United Kingdom	Sri Lanka	Per Capita Boundary	Unit
CO2 Emissions	12.1	1.1	1.6	tonnes CO2 per year
Phosphorus	5.2	0.1	0.9	kilograms P per year
Nitrogen	72.9	1.9	8.9	kilograms N per year
Blue Water	240	405	574	cubic metres H2O per year
eHANPP	2.4	1.5	2.6	tonnes C per year
Ecological Footprint	4.2	1.2	1.7	global hectares (gha) per year
Material Footprint	24.3	3.2	7.2	tonnes per year

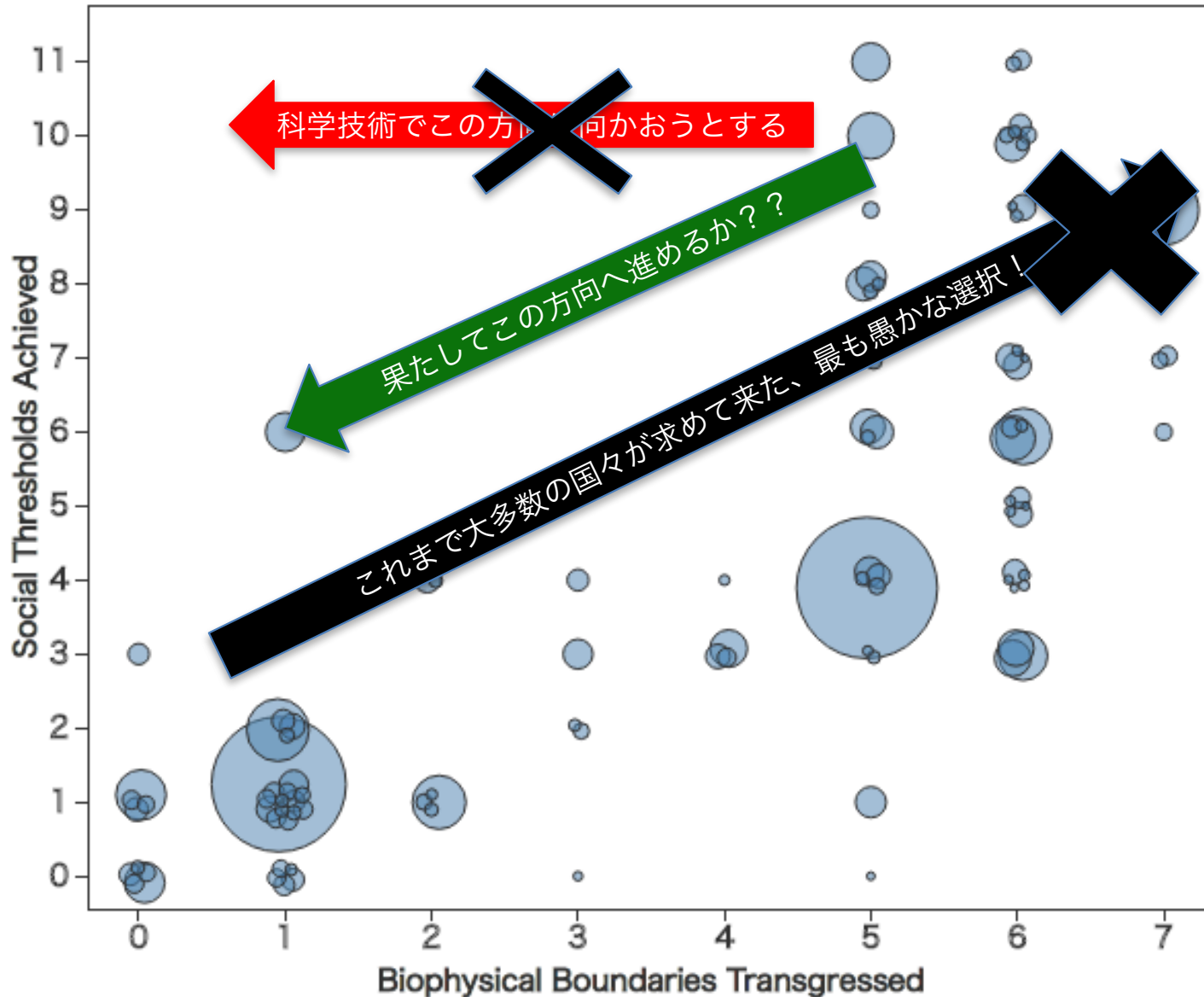
Social Indicator	United Kingdom	Sri Lanka	Threshold	Unit
Life Satisfaction	6.9	4.2	6.5	[0-10] Cantril scale
Healthy Life Expect.	71	64	65	years of healthy life
Nutrition	3414	2488	2700	kilocalories per capita per day
Sanitation	100	91.1	95	% with access to improved sanitation
Income	100	98.3	95	% who earn above \$1.90 per day
Access to Energy	100	88.7	95	% with access to electricity
Education	92.8	99.1	95	% enrolment in secondary school
Social Support	94.9	84.2	90	% with friends or family they can depend on
Democratic Quality	0.8	-0.6	0.8	Democratic Quality Index
Equality	65.2	58.5	70	[0-100] Scale -> (1 - Gini Index) * 100
Employment	92.2	95.8	94	% of labour force employed

(出典) goodlife.leeds.ac.uk

Biophysical Boundaries Transgressed versus Social Thresholds Achieved by Nation

Prevent overlapping points

Show country labels

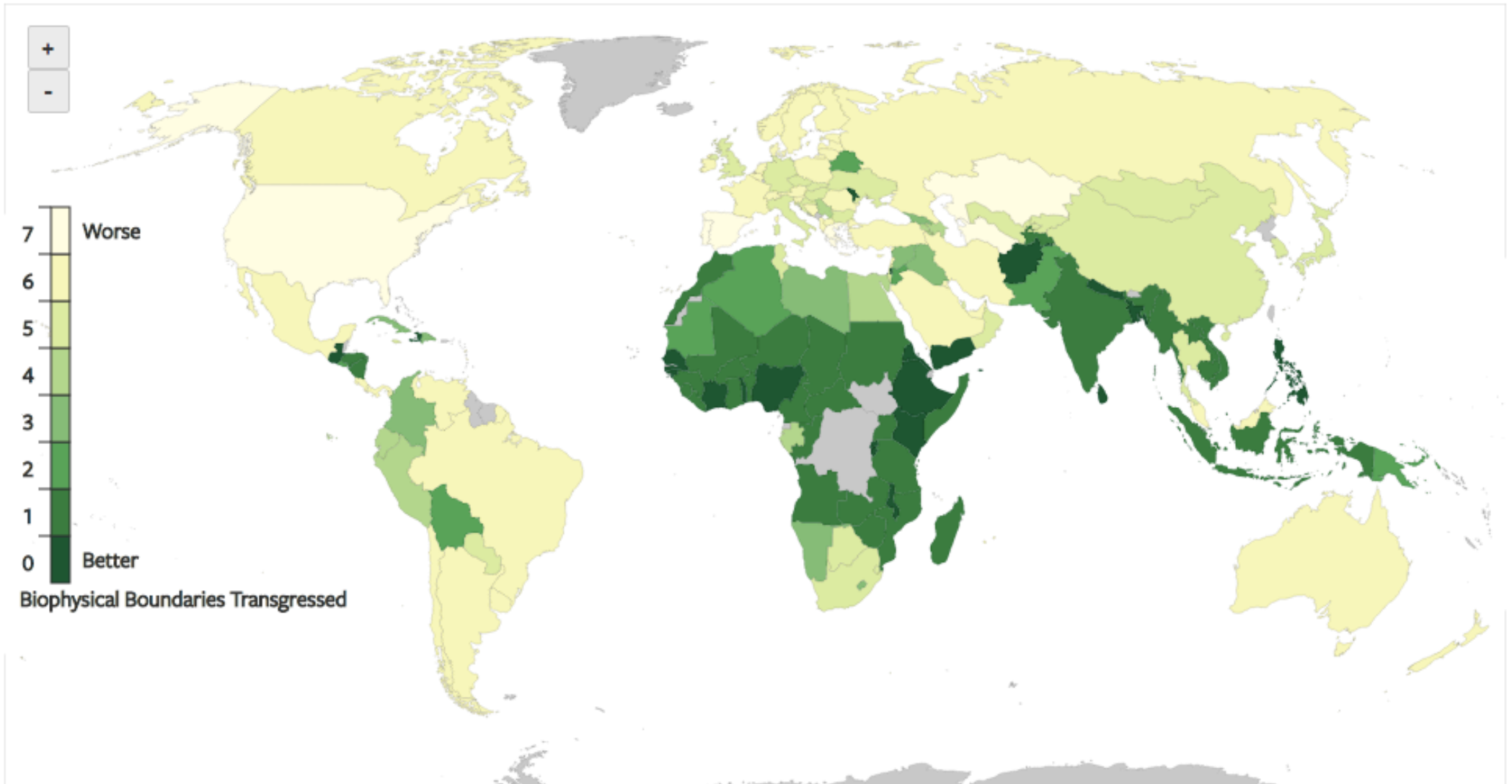


Swaziland
Sweden
Switzerland
Syrian Arab Republic
Tajikistan
Tanzania
Thailand
Timor-Leste
Togo
Trinidad and Tobago
Tunisia
Turkey
Turkmenistan
Uganda
Ukraine
United Arab Emirates

(出典) goodlife.leeds.ac.uk

BIOPHYSICAL

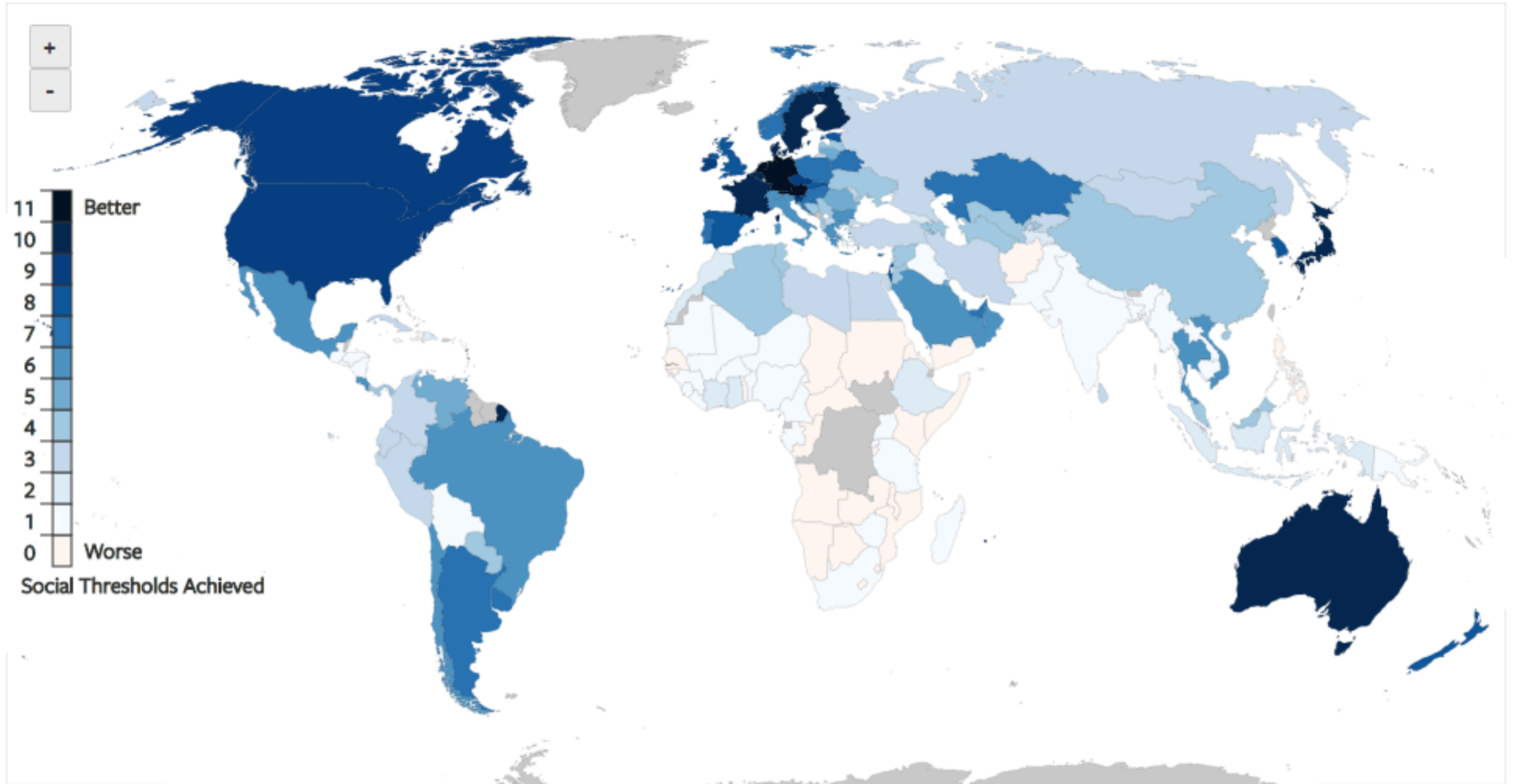
SOCIAL



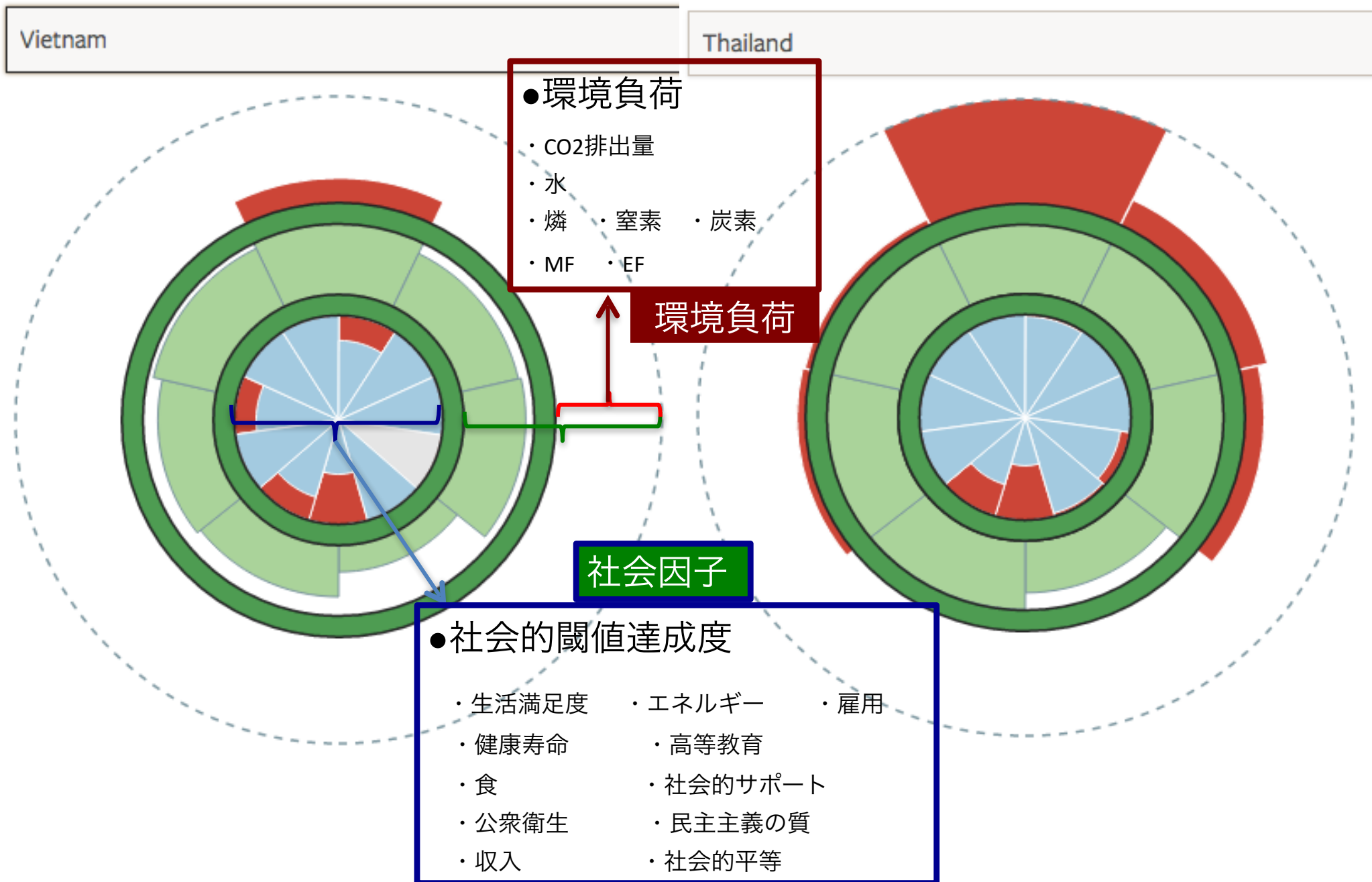
(出典) goodlife.leeds.ac.uk

BIOPHYSICAL

SOCIAL



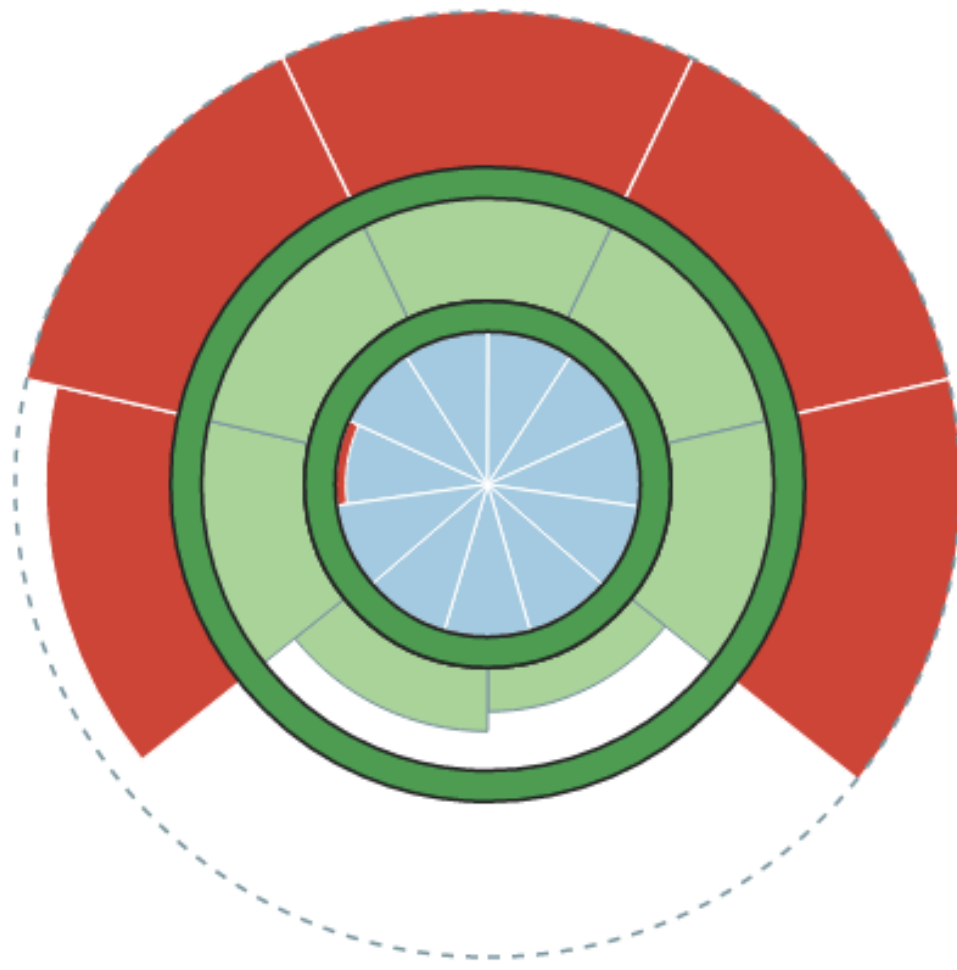
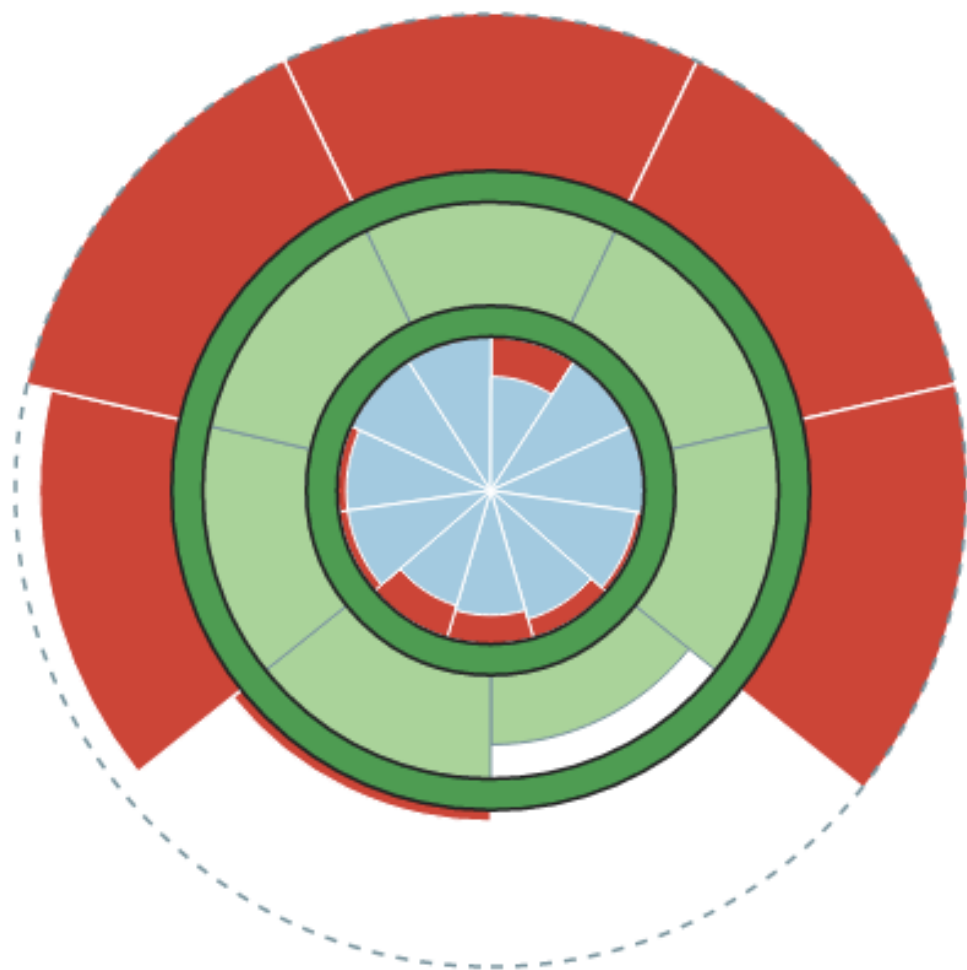
各国の状況を見ると・・・（ましな例）



各国の状況を見ると (先進国群)

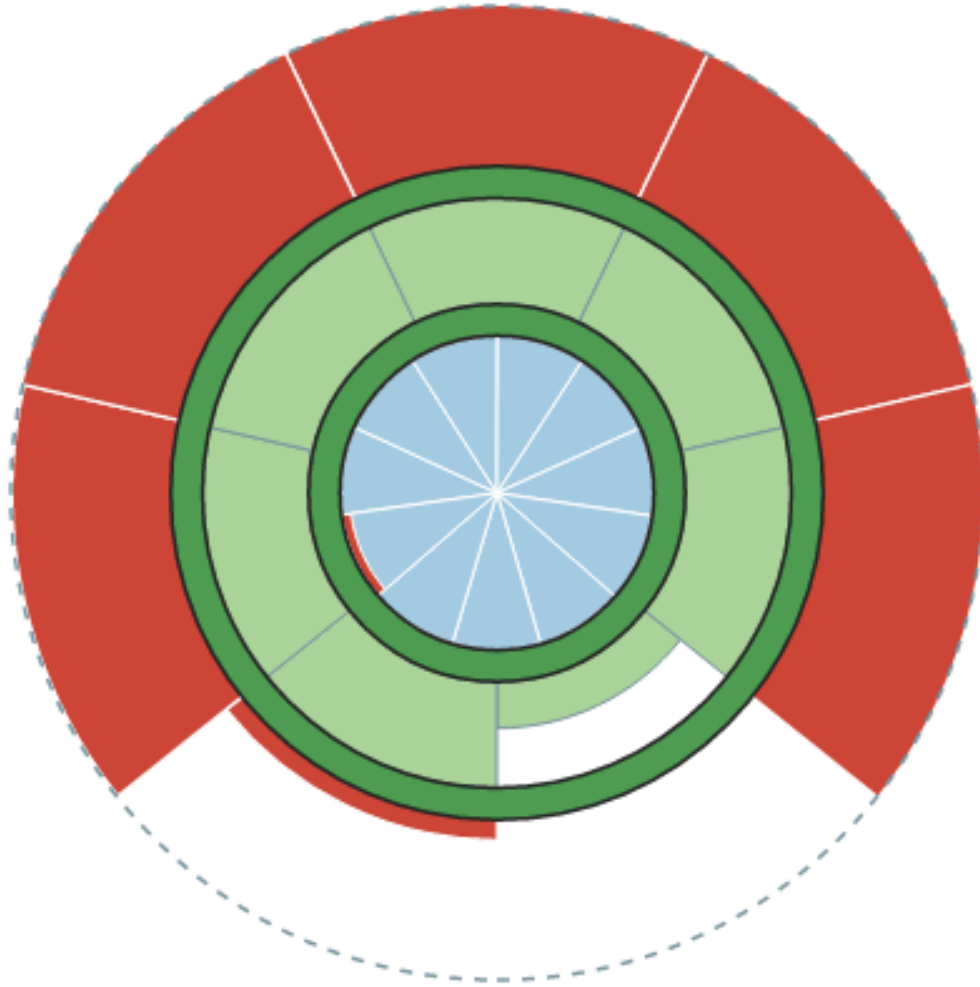
G20

Japan

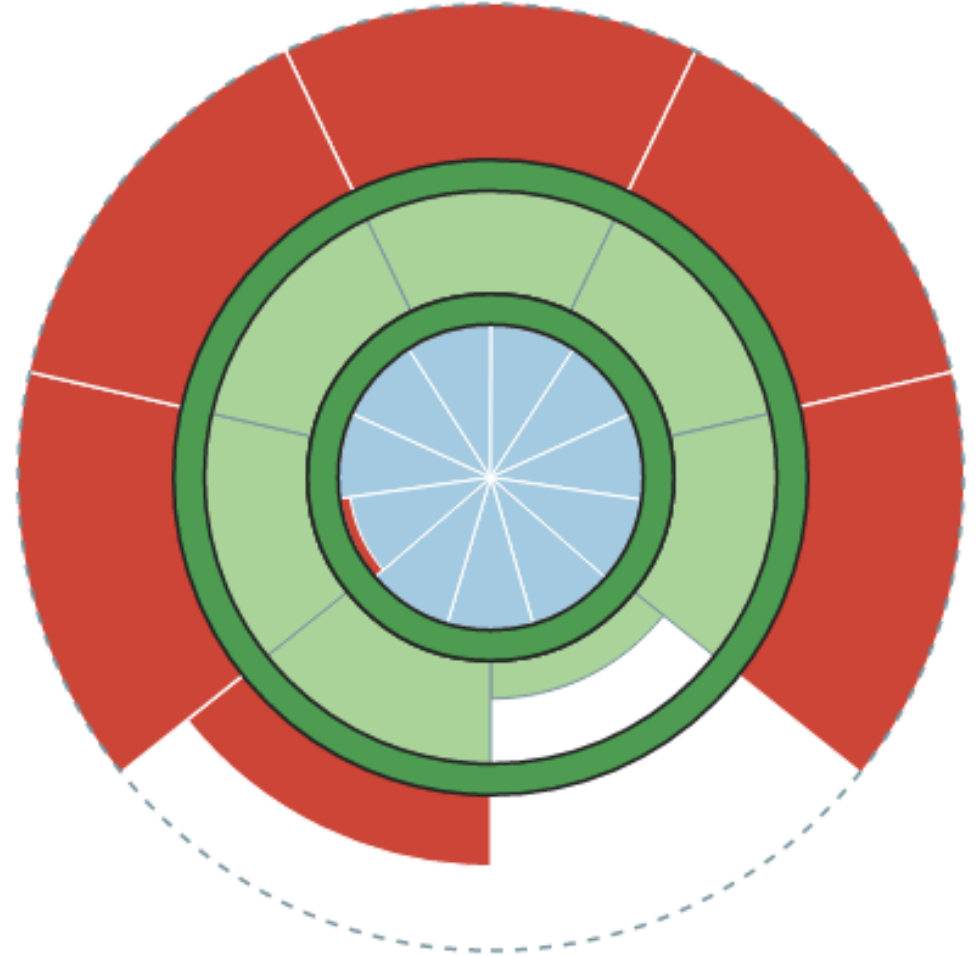


各国の状況を見ると・・・（幸福度の高い国）

Denmark

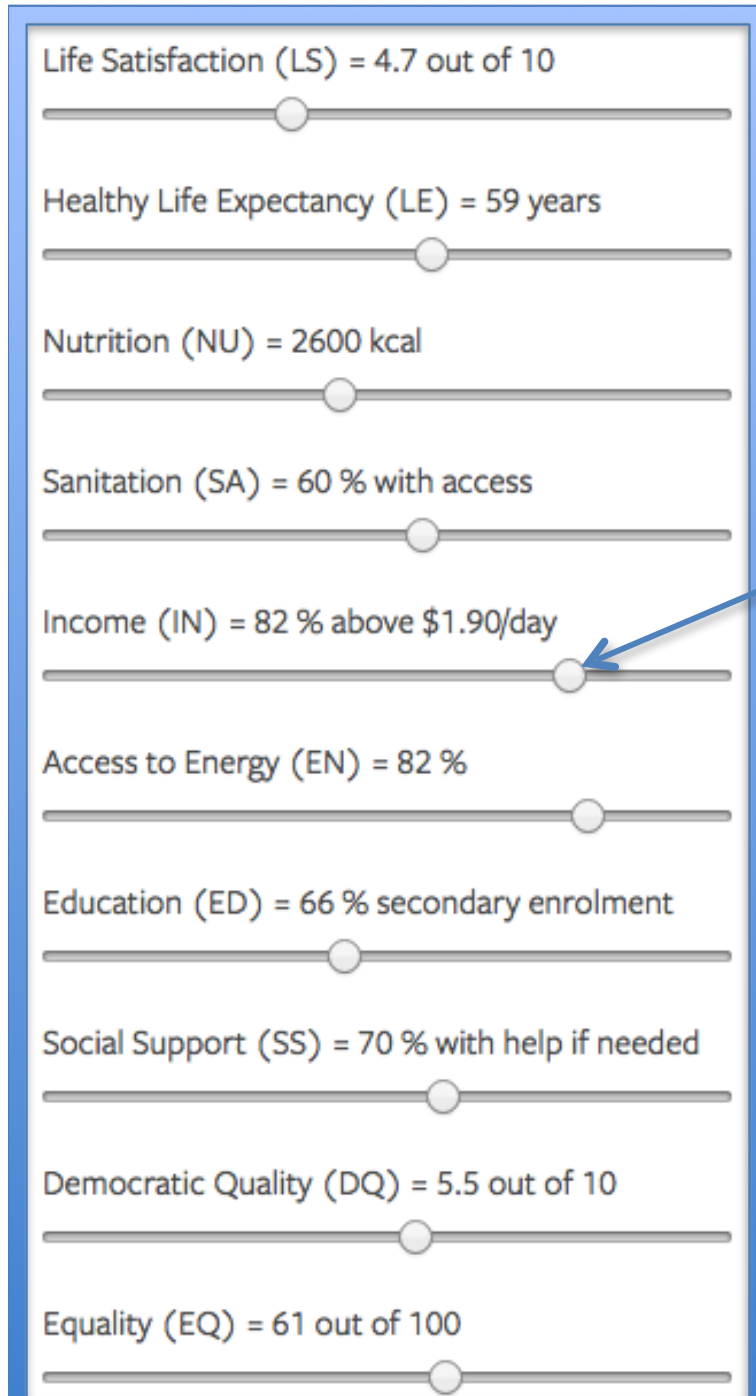


Finland



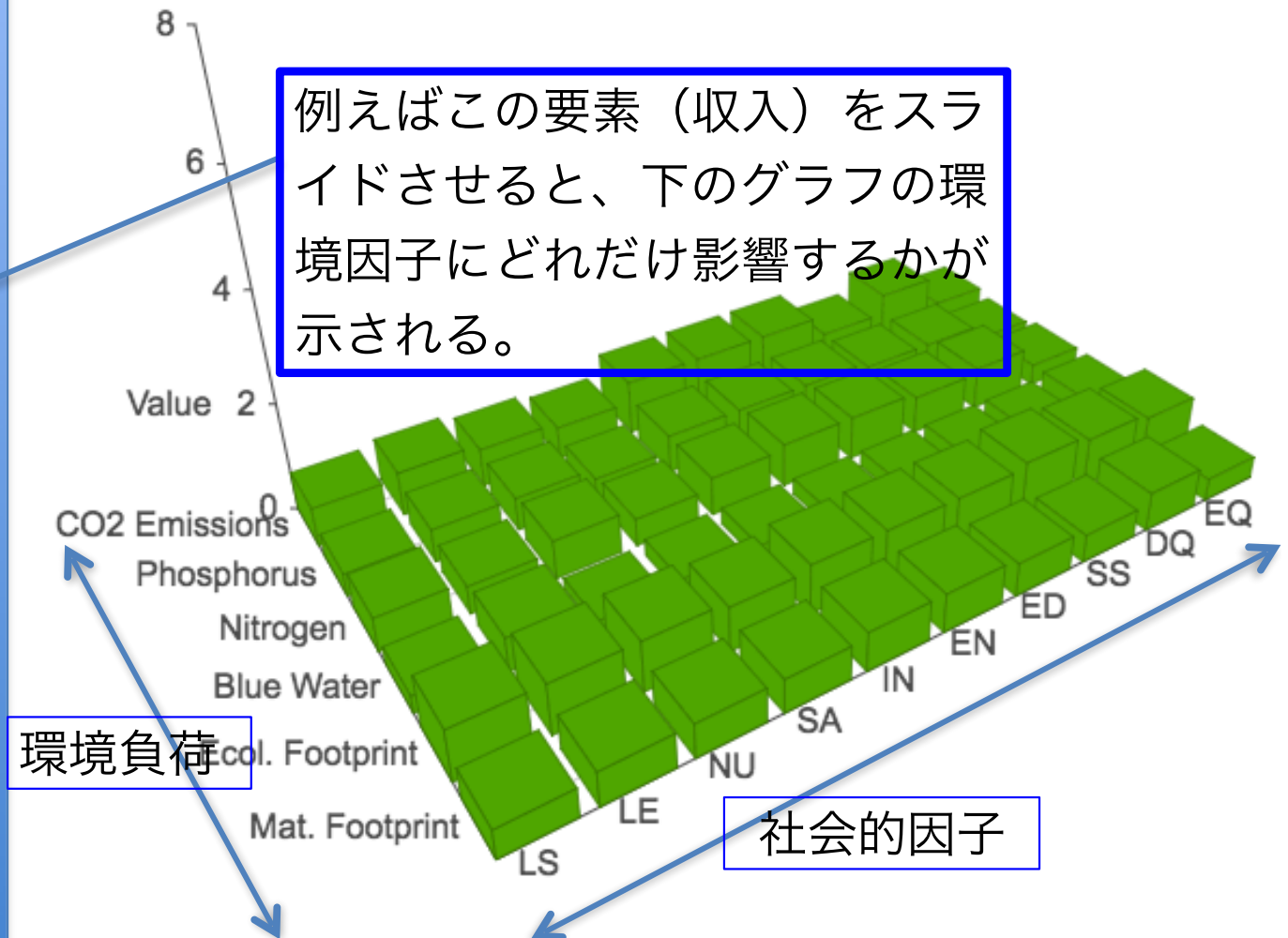
豊かさはどの程度まで許されるか

(下のグラフが全て緑色になる限界を探る)



これが、現状で考えられる
ギリギリの持続可能な条件

例えばこの要素（収入）をスライドさせると、下のグラフの環境因子にどれだけ影響するかが示される。



社会的因子をわずかに触ると (CO2と燐に負荷が)

(このような小手先の解決策ではダメなことが次からのスライドで判明)

Life Satisfaction (LS) = 4.8 out of 10



Healthy Life Expectancy (LE) = 61 years



Nutrition (NU) = 2700 kcal



Sanitation (SA) = 83 % with access



Income (IN) = 88 % above \$1.90/day



Access to Energy (EN) = 88 %



Education (ED) = 75 % secondary enrolment



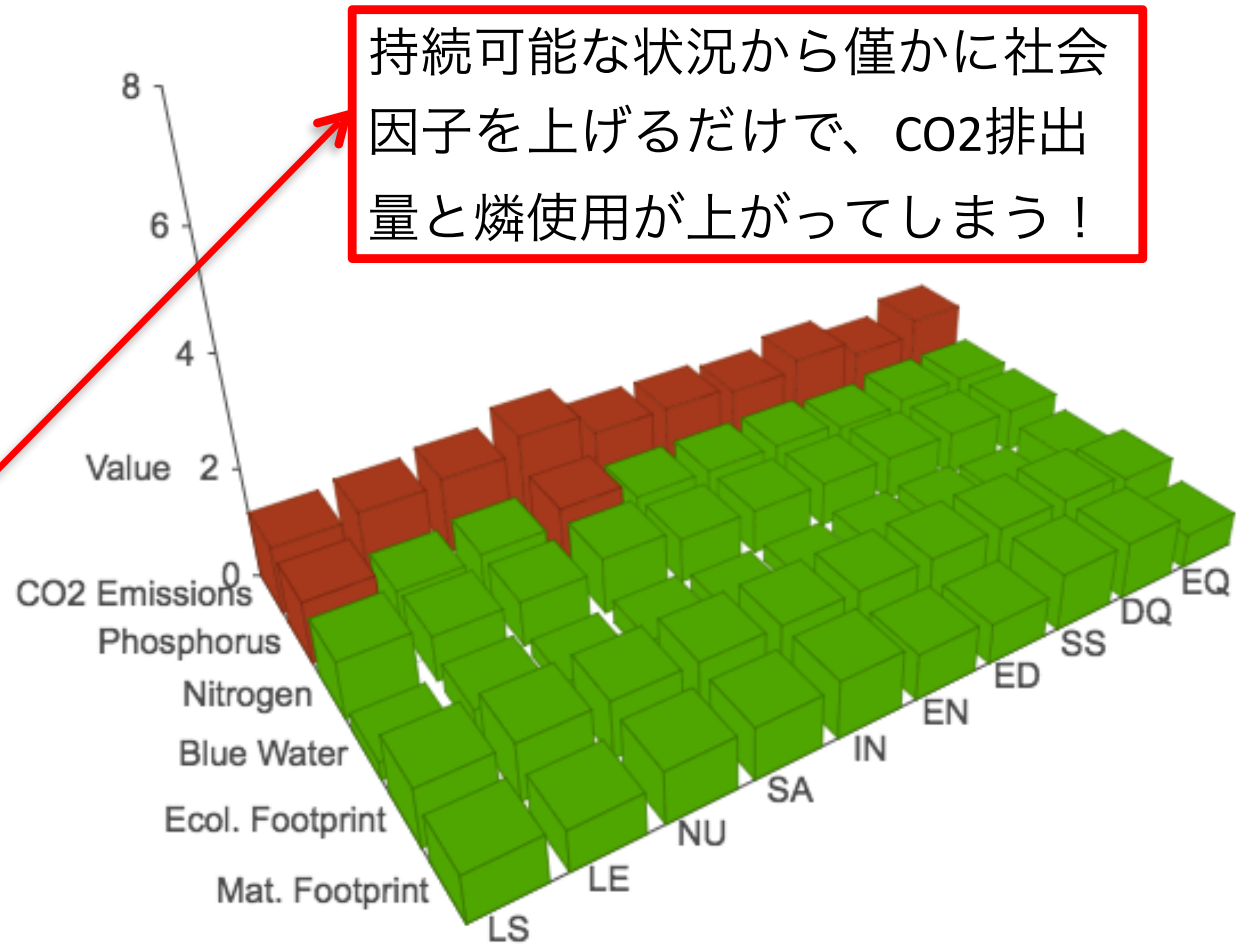
Social Support (SS) = 76 % with help if needed



Democratic Quality (DQ) = 6.2 out of 10



Equality (EQ) = 62 out of 100



教育、社会的支援、民主主義の質、社会的平等を 最高レベルにすると・・・

Life Satisfaction (LS) = 4.8 out of 10



Healthy Life Expectancy (LE) = 61 years



Nutrition (NU) = 2700 kcal



Sanitation (SA) = 82 % with access



Income (IN) = 91 % above \$1.90/day



Access to Energy (EN) = 88 %



Education (ED) = 134 % secondary enrolment



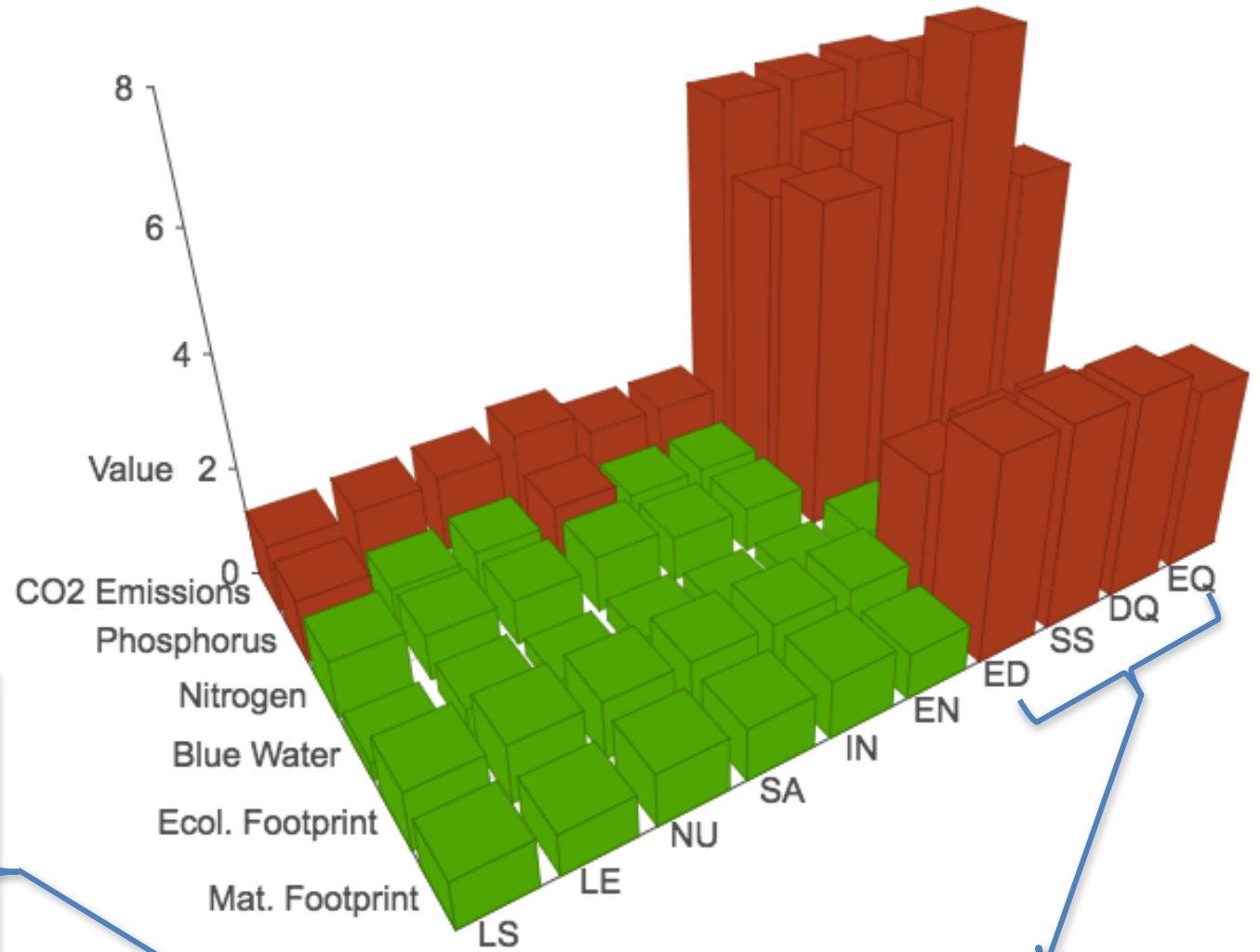
Social Support (SS) = 98 % with help if needed



Democratic Quality (DQ) = 10 out of 10



Equality (EQ) = 81 out of 100



この4要素を最高レベルにした場合

生活満足度、健康寿命を最高レベルにすると . . .

Life Satisfaction (LS) = 8 out of 10



Healthy Life Expectancy (LE) = 75 years



Nutrition (NU) = 2700 kcal



Sanitation (SA) = 82 % with access



Income (IN) = 91 % above \$1.90/day



Access to Energy (EN) = 88 %



Education (ED) = 75 % secondary enrolment



Social Support (SS) = 77 % with help if needed



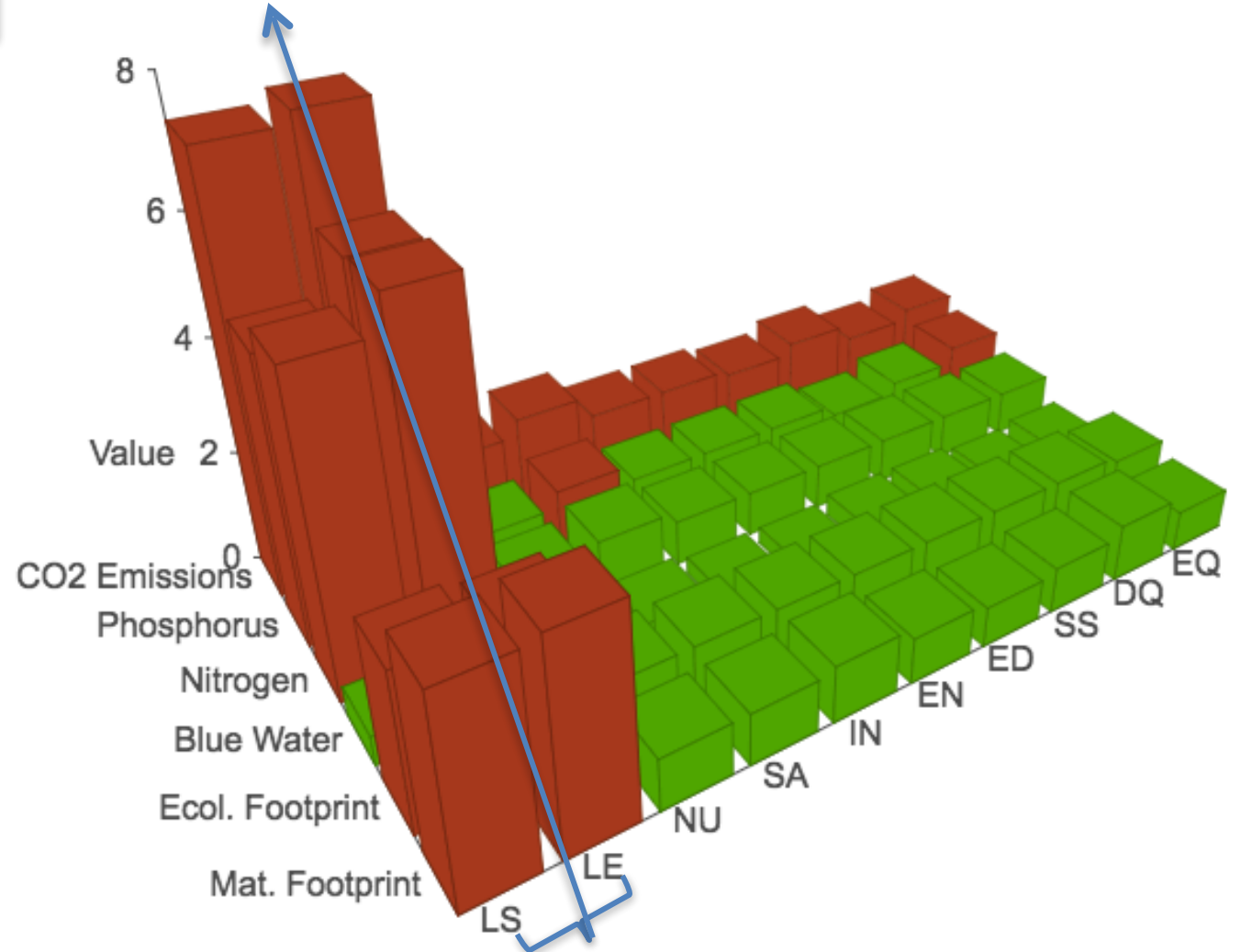
Democratic Quality (DQ) = 6.2 out of 10



Equality (EQ) = 65 out of 100



この2要素を最高レベルにした場合



社会的因子を全て十分に満足すると . . .

Life Satisfaction (LS) = 8 out of 10

Healthy Life Expectancy (LE) = 75 years

Nutrition (NU) = 3800 kcal

Sanitation (SA) = 100 % with access

Income (IN) = 100 % above \$1.90/day

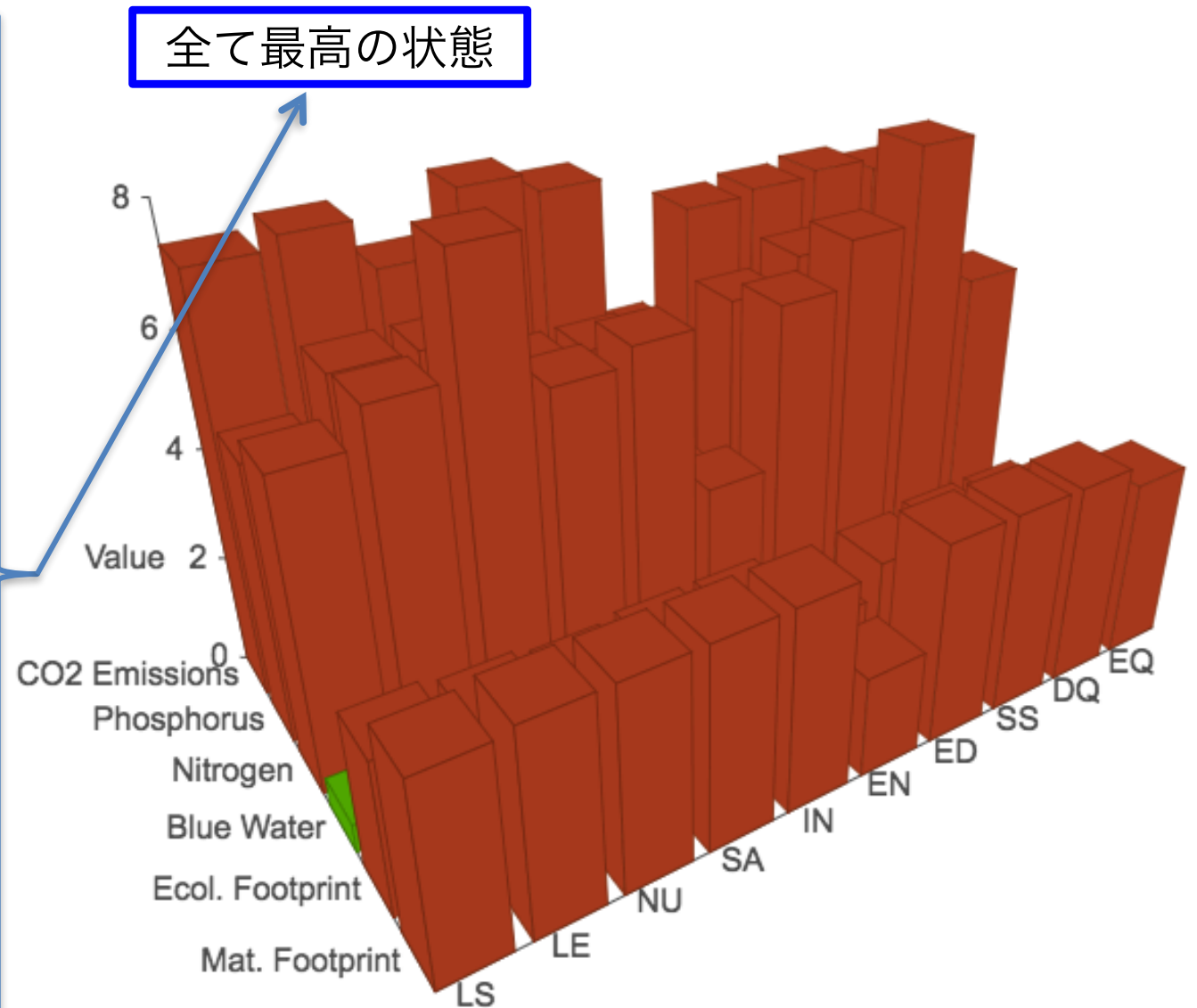
Access to Energy (EN) = 100 %

Education (ED) = 134 % secondary enrolment

Social Support (SS) = 98 % with help if needed

Democratic Quality (DQ) = 10 out of 10

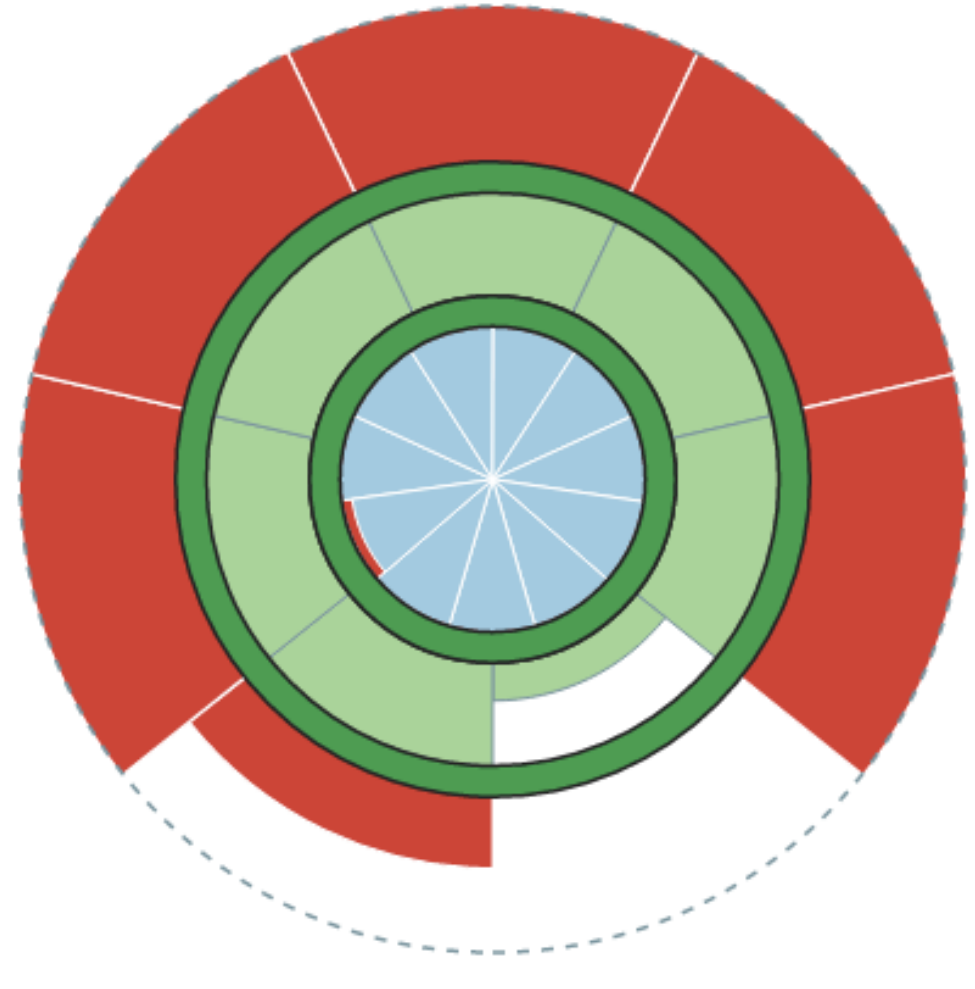
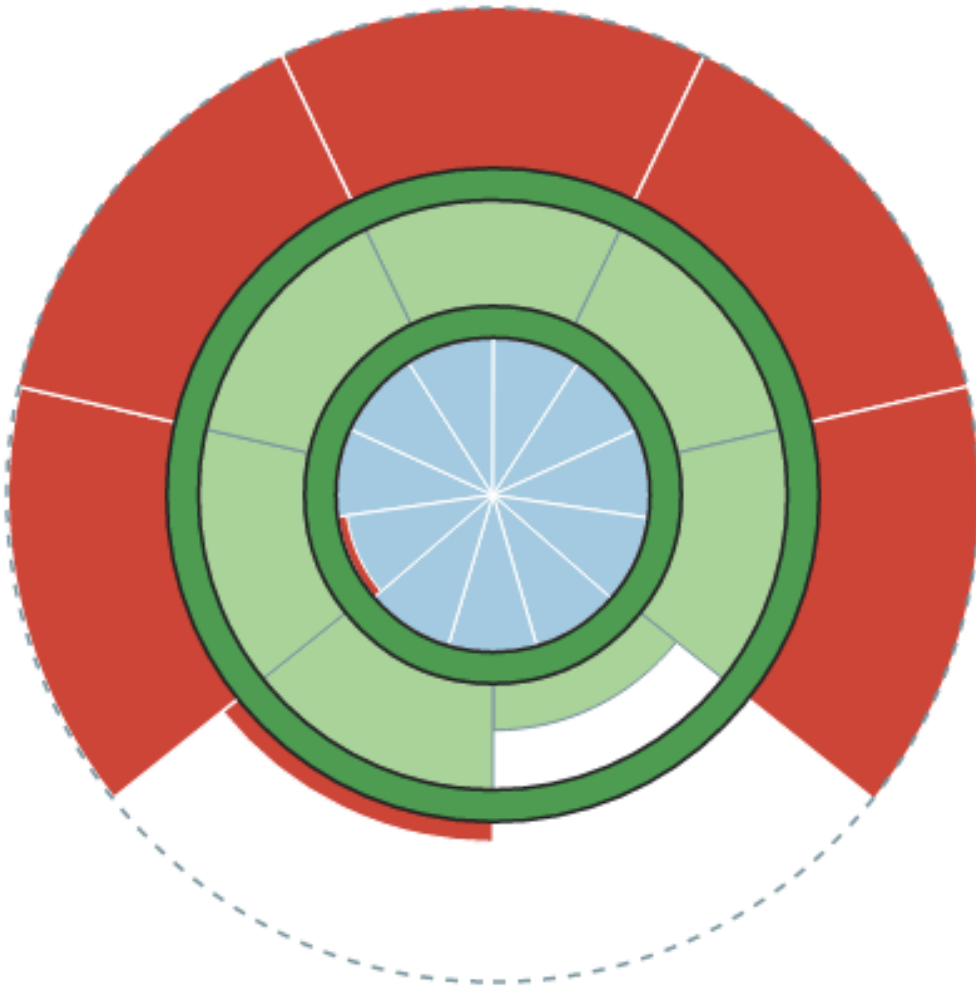
Equality (EQ) = 81 out of 100



(再掲) 幸福度の高い国 = 資源消費国群

Denmark

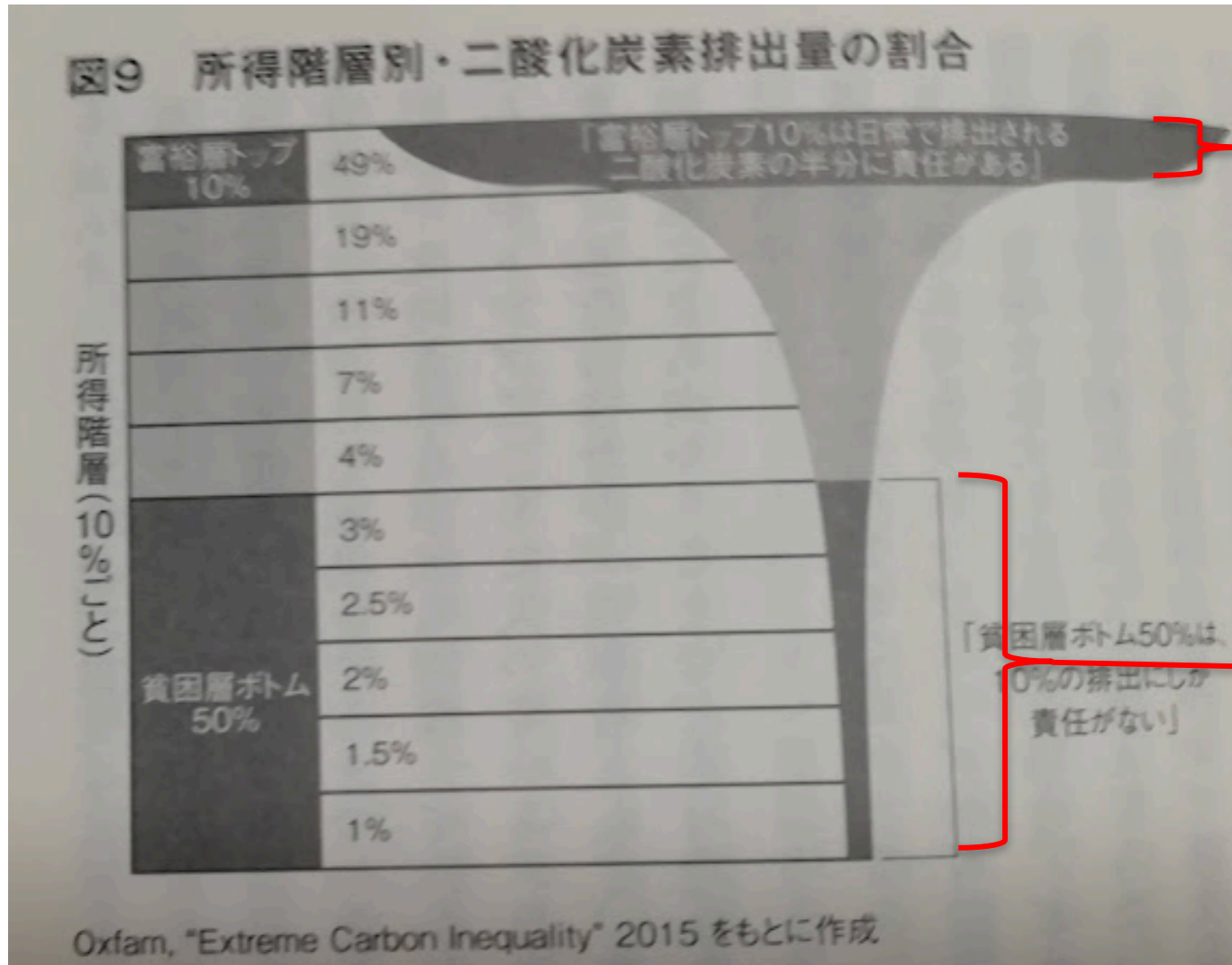
Finland



結局、環境に多大な負荷をかけて社会基盤を充実させることが近代の求めて来た理想??

(参考) 2015年の所得階層別CO2排出量

(『人新生の「資本論」』より)



富裕層トップ10%は、50%の責任がある！

貧困層ボトム50%は、10%の責任しかない

これらのデータから分かること

- 今日のいわゆる“豊かさ”は、持続不能！！
 - 西欧近代がもたらした“豊かさ”を、根本的に問いたただすべき！
 - ⇒500年前から始まったグローバリゼーションを問いたただす
 - ⇒西欧近代そのものを問いたただす
 - 現状の先進国群の豊かさを持続させるのはほぼ不可能（技術では太刀打ち出来ないのでは?!）
 - ⇒新たな技術に頼るのではなく、抜本的な社会改造が必要
- やり方によっては持続的な豊かさが追求出来そうな少数国
 - ベトナム：現状で最も持続可能に近い状態

これまで近代が求めて来たのではない、
新たな豊かさ・幸せを考え出さないと、無理！！

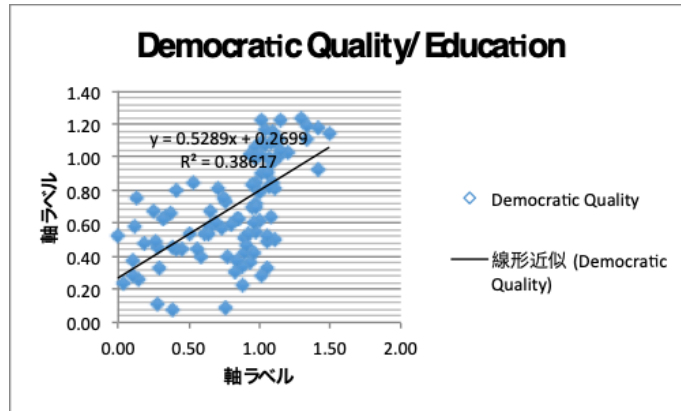
ここからは、独自の分析 (公表されている生データから)

- リーズ大学が公表している各国のエクセルデータを使用し、**社会的因子と環境因子等の相関分析**を行った。
- 各要素の欠落している国は排除し、残った99カ国のデータを使用
(元データは、151カ国)
- 社会的因子からは、**教育の高さ・民主主義の質・社会の平等性**を選択
- 環境因子からは、人口一人当たりの**CO2排出量・Ecological Footprint・Material Footprint**の3要素を選択

結論 : 民主主義、平等な社会、教育は、環境を破壊する??

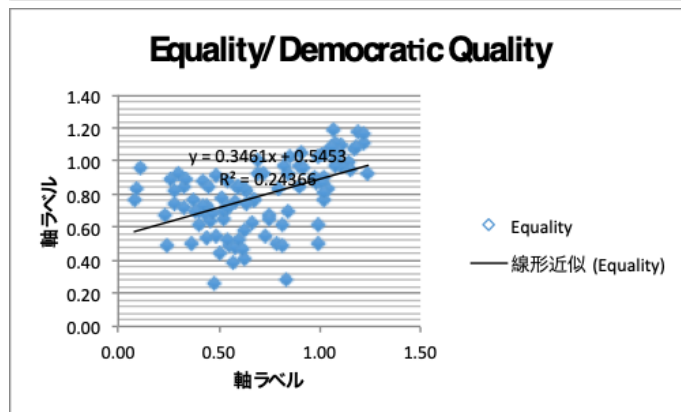
代表的な社会因子・環境因子の相関分析

(その1 : 社会因子間)



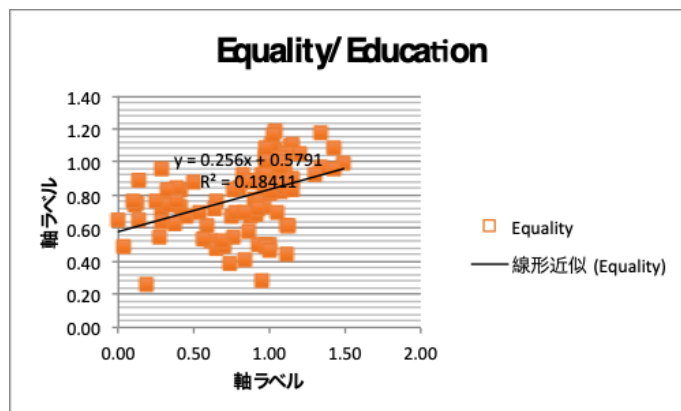
民主主義の質 : 教育の高さ

教育により民主主義の質が高くなるということか？



平等 : 民主主義の質

民主主義の質が高まると、社会の平等性は高まる？



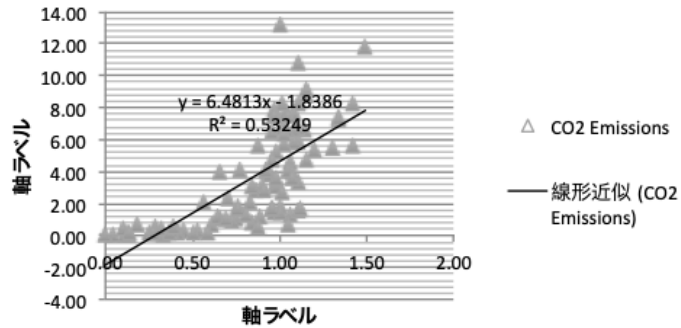
平等 : 教育の高さ

高い教育は、社会を平等にする？ (相関は若干低い)

代表的な社会因子・環境因子の相関分析

(その2 : CO2排出量と社会因子)

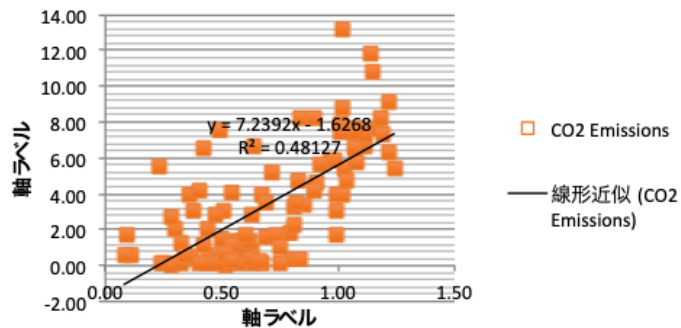
CO2 Emissions/ Education



CO2排出量 : 教育の高さ

高い教育レベルはCO2排出量を増加させる？

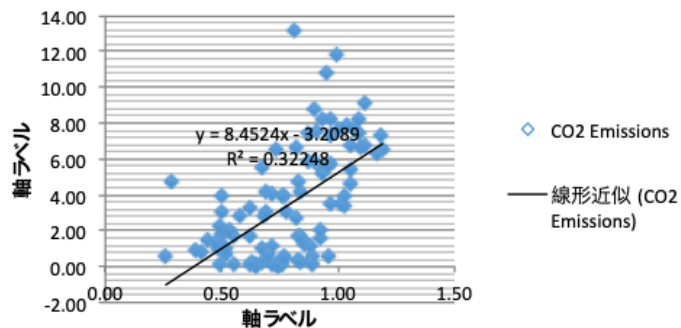
CO2 Emissions/ Democrtic Quality



CO2排出量 : 民主主義の質

民主主義の質が高まると、CO2排出量は増加？

CO2 Emissions/ Equality

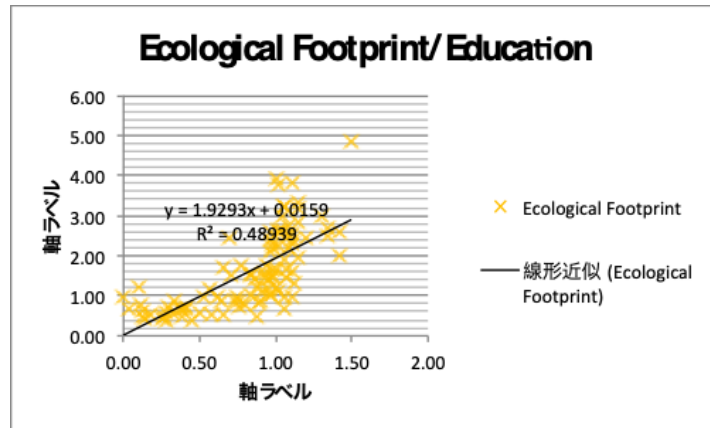


CO2排出量 : 平等

平等な社会は、CO2排出量を増加させる？

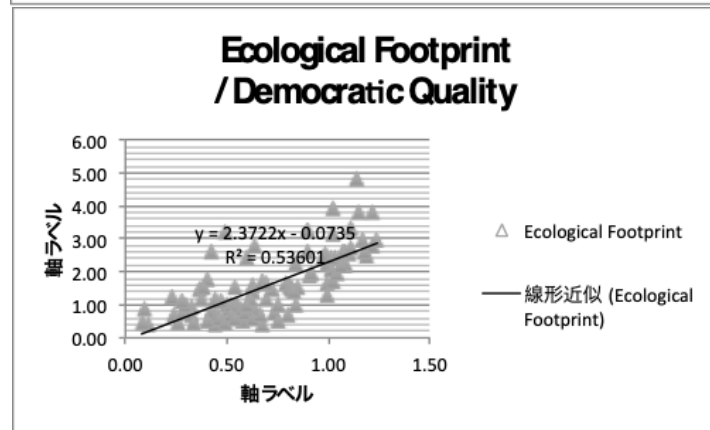
代表的な社会因子・環境因子の相関分析

(その3：エコロジカル・フットプリントと社会因子)



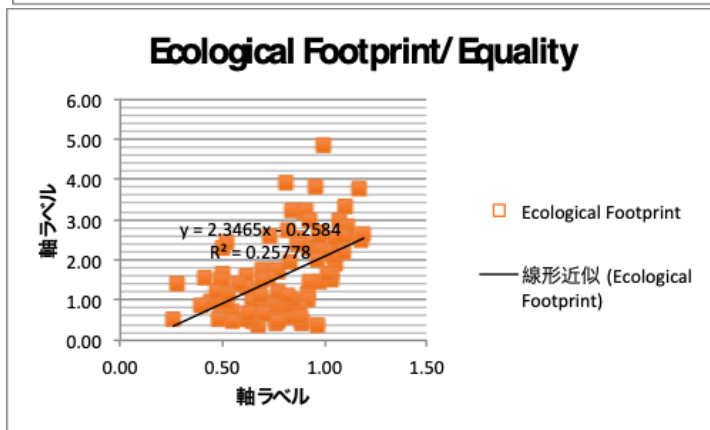
エコロジカルFP : 教育の高さ

教育のレベルが上がると、
環境負荷が高まる？



エコロジカルFP : 民主主義の質

民主主義の質が高まると、
環境負荷は高まる？

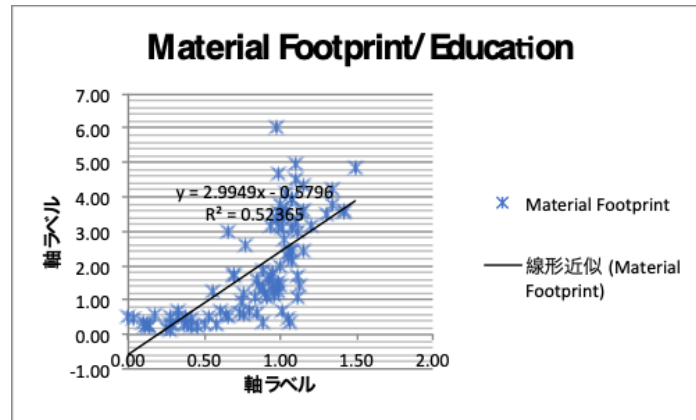


エコロジカルFP : 平等

社会が平等になるほど、環
境負荷は高まる？

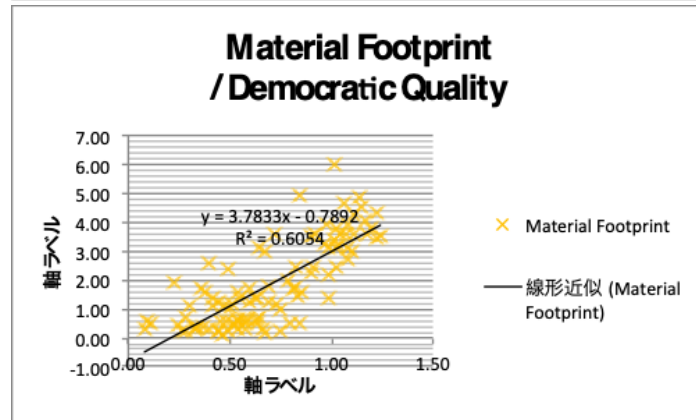
代表的な社会因子・環境因子の相関分析

(その4：マテリアル・フットプリントと社会因子)



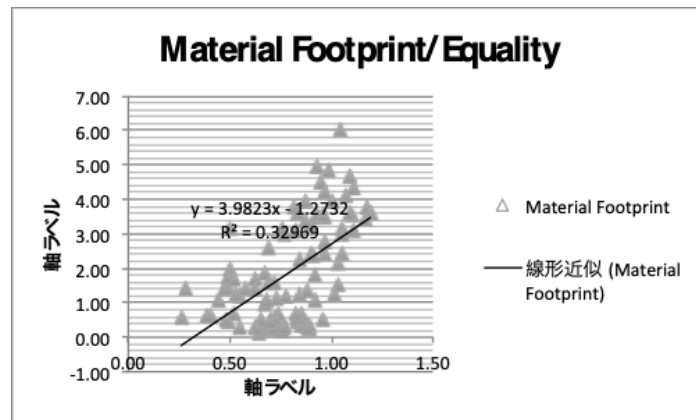
マテリアルFP : 教育の高さ

教育レベルの高さは物質の過剰使用に繋がる？



マテリアルFP : 民主主義の質

民主主義の質は、物質の過剰使用に依存している？



マテリアルFP : 平等

社会的平等は、物質の過剰使用に依存している？

分析のまとめ

	相関要素		重相関係数= R^2	相関係数= R	評価R
社会要素間	Education	Democratic Quality	0.38617	0.6214	かなり
	Euqality	Democratic Quality	0.24366	0.4936	かなり
	Euqality	Education	0.18411	0.4291	かなり
環境・社会要素間	CO2 Emission	Education	0.53249	0.7297	強い
		Democratic Quality	0.48127	0.6937	かなり
		Euqality	0.32248	0.5679	かなり
	Ecological Footprint	Education	0.48939	0.6996	かなり
		Democratic Quality	0.53601	0.7321	強い
		Euqality	0.25778	0.5077	かなり
	Material Footprint	Education	0.52365	0.7236	強い
		Democratic Quality	0.60540	0.7781	強い
		Euqality	0.32969	0.5742	かなり

Rの意味	0.0~0.2	殆ど相関関係無し
	0.2~0.4	やや相関関係あり
	0.4~0.7	かなり相関関係あり
	0.7~1.0	強い相関関係あり

- 単純に考えると、近代が求めて来た諸要素が高まる程、環境負荷は増大
あるいは、環境に負荷かけることで、“近代”の理想を構築
- 近代が求めている理想が悪いのではなく、**手法に問題がある？**
- あるいは、**近代そのものに明確な問題がある？**
- まずは“近代”が求めて来たものを精査し、近代社会の構造を分析する必要がある
(これが、リーズ大学が求めて来た結論か??)

リーズ大学資料、 どうでした？

- ざっくり言えば、世界の持続不能性はあらゆる面から明らか
- このまま、資本主義や民主主義を飼い慣らそうとするのか？
- 何がなんでも、経済成長を基本とするのか？
- もうそろそろ、別の道を考えるべきでは？

ここからは、江戸の経済・文化
・・・[渋沢さんの江戸の話の補足](#)・・・

(世界史的にも稀な持続可能社会が江戸にあった)

日本の歴史をどう解釈するか

(ヨーロッパの歴史観に強引に乗せられた日本史)

- ヨーロッパ型歴史観からの脱却が必要

- 歴史的進歩主義を根底とする

古代、中世、近代、現代という過程で、人類は進歩

- もう一つ、歴史的勝利者史観を根底とする

ヨーロッパが歴史的勝者であるという解釈

※捉え方としての“日本史”の問題点

- 「“国史”が日本史を歪めた」（内山節さんとの会話で）

⇒ 歴史とは、為政者ではなく、多くの生活者の歴史では？

- その中で、もう一度“江戸時代”を考える

- ヒントは幕末、明治初期に来た欧米人の証言

◆ネタ元は・・・

『逝きし世の面影』（渡辺京二）

『日本奥地紀行』（イザベラ・バード）など

まずは江戸の物価を通じた
江戸の経済を探る

江戸庶民の生活 その1 (大工)

(若夫婦+子どもひとり、4畳半二間)

年収はちょっと低いけど、長屋の四畳半二間で幸せそう??

大工年収(約260万円)



■年額(万円)

大工家計支出(約250万円)



- 店賃(たな賃)
- 米代
- 塩、味噌、醤油、油、薪炭
- 道具、家具
- 衣服
- 付き合い
- 余剰

食費、エネルギー費で家計の2/3以上?

江戸庶民の生活 その2 (農民)

(夫婦+子ども一人、田1町歩+畑5反)

年貢と地代が高いけど、大工よりは多い年収。大根で稼いでいる！！

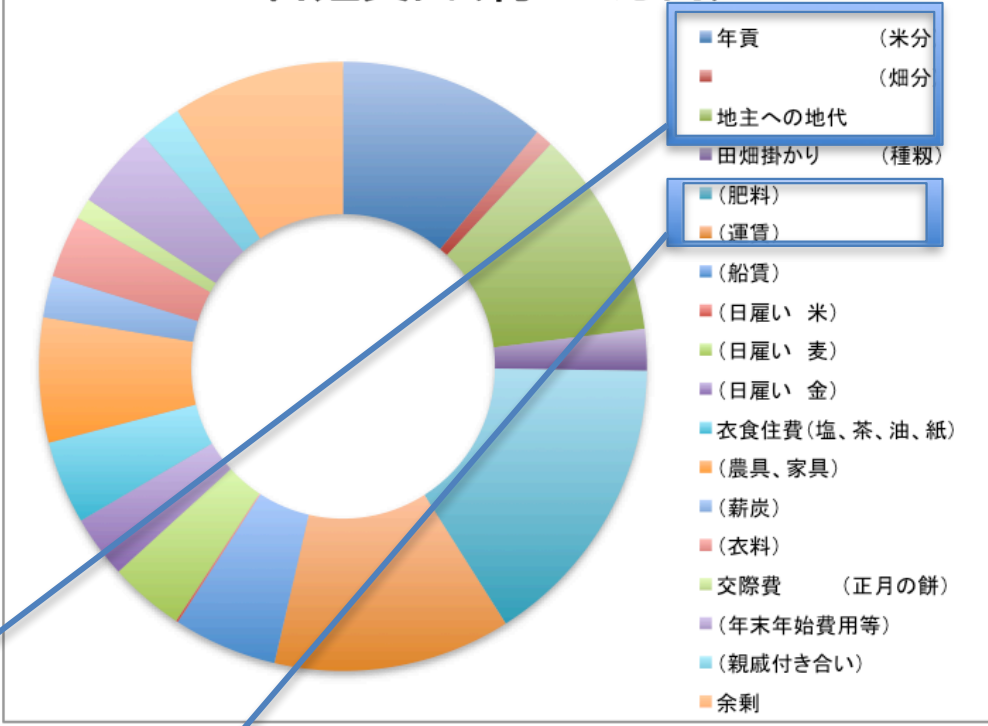
百姓収入(約450万円)



この農家は大根で稼いでいる
(モデルは練馬の農民?)

支出の約1/4は年貢と小作料

百姓支出(約410万円)



肥料代、運送費がかなり高い

江戸庶民の生活 その3 (下級武士)

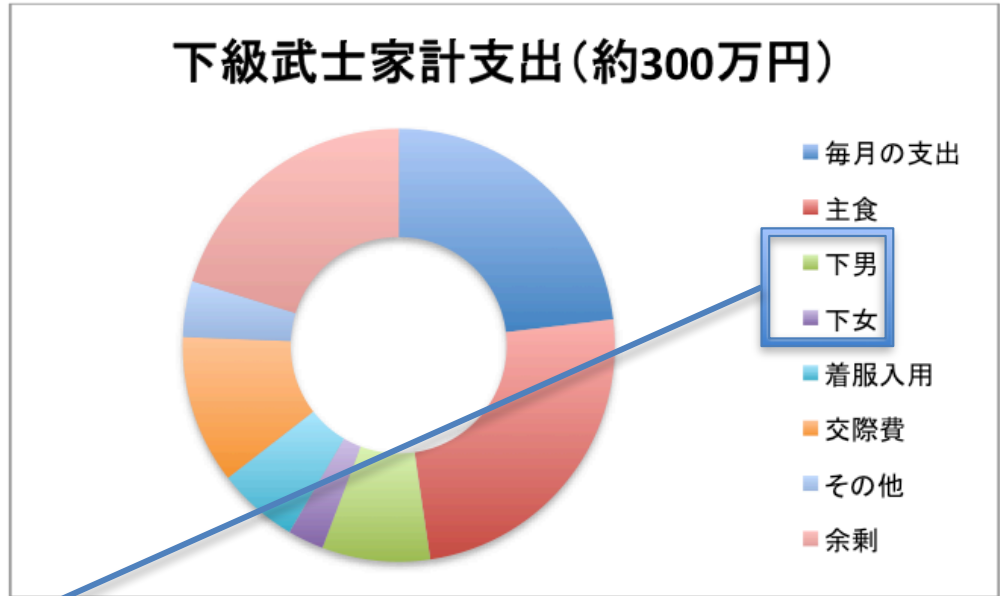
(夫婦+子ども一人、下男下女一人ずつ)

侍は大変だ～！下級武士でも、下男下女雇って、多くは借金まみれ！

下級武士年収(約370万円)



下級武士家計支出(約300万円)



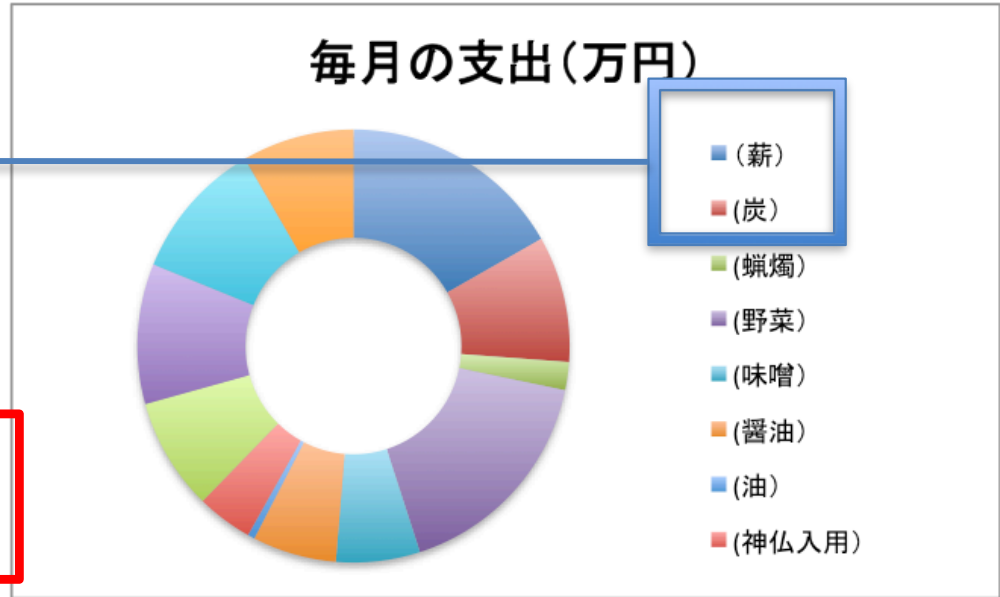
著しい男尊女卑？
下女はインターン？

エネルギー費

収入構造は、禄高+人数割の手当

※ 表面上余剰はあるが、多くの下級武士は借金まみれ？

毎月の支出(万円)

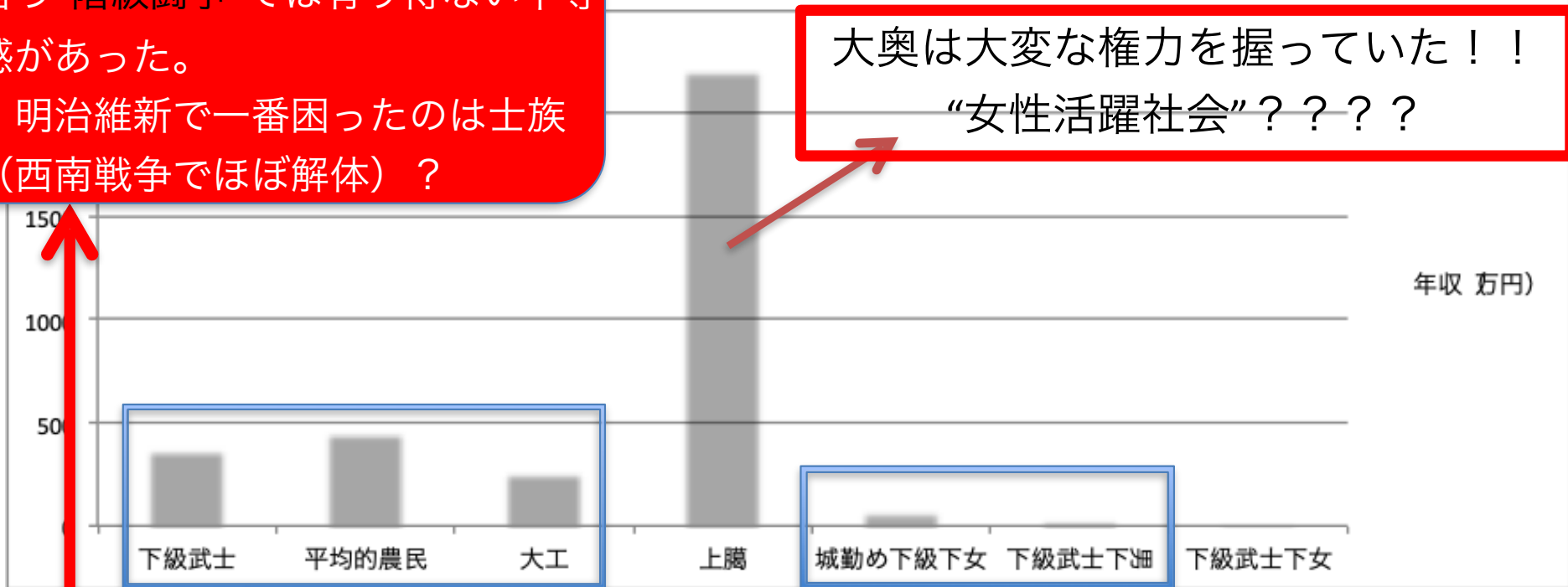


士農工商とはいうが、結構平等

(“士”なき今は、“商工農”の格差社会！)

- ・このような社会では、マルクスの言う“階級闘争”では有り得ない平等感があった。
- ・明治維新で一番困ったのは士族(西南戦争でほぼ解体)？

代身分別年収比較 (万円)



士農工商といえども、下級武士の生活レベルは決して高くない
⇒“階級”と生活レベルの相関無し

城詰め下級下女は、下級武士下男より生活はレベル高い

江戸の物価（1） 見れば見るほど興味深い！

約 1両 = 10万円)

浮世絵	800
新刊本	7,500
四郎 (枚もの)	100
四郎 幕末)	750
見せ替	600
歌舞伎・芝居 栈敷席)	273,333
歌舞伎・芝居 切落席)	58,333
歌舞伎・芝居 仕間席)	25,000
歌舞伎・芝居 (幕立見)	400
風呂屋 大人)	200
風呂屋 小人)	150
風呂屋 幼児)	100
駕籠 日本橋～吉原 約5km)	5,000
飛脚普通便 江戸～大阪 約25日)	750
飛脚急便 江戸～大阪 約2～3日)	3,100
宿泊代 (泊2食)	6,200
下道旅費 江戸～京 125里 = 500km)	125,000
木綿半地	15,000
股引	15,000
足袋	4,500
草鞋 わらじ)	376
下駄 並)	1,250
扇傘	5,000
蛇の目傘	20,000
西目	1,000
治庵大根	376
鯨 握り鯨1貫 = 大きき鯨在の4倍位?)	200
鯨 (匹)	5,000
鰻飯	5,000
初鯉	130,000
鯛 (0匹)	1,250

豆腐 細在の4丁分?)	1,250
豆腐田楽	50
納豆	100
蜆 (じみ)	250
このしろ	76
ゆで卵	500
蕎麦 うどん	400
天婦羅蕎麦	800
烙烙 ほろく = おこしのようなもの?)	300
長命寺の桜餅	100
大福餅	100
蒸羊羹	1,750
串団子	100
心太 ところてん 1杯)	1,750
啤酒	200
冷や水	100
米 (升)	2,500
関東醤油 (升)	1,500
下り醤油 (升)	2,500
黒砂糖 (斤 = 600g)	3,000
里芋 (升 = 1.5kg)	900
菜種油 (1合 = 180ml)	1,000
魚油 (1合 = 180ml)	500
居酒屋の酒 (1合)	750
上酒 (升)	6,250
酒 (升)	3,126
下酒 (升)	2,000
煙草	200
百目蠟燭 約100匁)	5,000
蠟燭 (匁掛)	450
歯磨き粉 約1ヶ月分)	226

紅 (匁 = 金1匁 = 約20塗分)	750
江戸の水 化粧水大箱)	3,750
鉄漿水 かねみず = お歯黒)	26
床屋 髪結い、散髪)	700
按摩	1,250
避妊薬 (朔日丸 いたちがん) 1回分)	3,100
富籤 宝くじ 1枚)	50,000
浅草紙 (100枚)	2,500
塵紙 ちり紙)	176
算盤	3,000
手拭 3尺)	2,926
上扇子	900
中扇子	450
長屋の家賃 3尺2間の一間 = 6間?)	15,000
大工の手間賃 日当)	10,000
野菜売りの稼ぎ (日)	5,000
寺子屋の月謝	12,500
吉原 女夫の挙げ代)	152,000
遊の親の薬代の為に娘が吉原へ	5,000,000
夫の窮地を救う為に妻が吉原へ	8,000,000
不倫の示談金	750,000
富籤当たり籤金	100,000,000

- ・江戸の物価は今の物価と変わらない？
- ・繊維だけは高い！
- ・米、一部加工品、砂糖も高い

江戸の物価（2）

	千円 : 1両 = 10万円)
馬	2,500
一般的な日本刀の値段	2,500
幕府収入 (代吉宗期)	292,424,242
大奥の諸経費	20,000,000
上臈御年寄 (じょうろう=大奥最高位年寄)	22,150
御末 (おすえ=下級の侍女年収)	710
大奥の賄賂 (上臈御年寄)	100,000
参勤交代費 金治~戸戸 2,000人、12泊	300,000
地ならし費 事前調整 加賀~戸戸)	125,000
長次郎 造 茶碗 鉢開」落札値	120,000
長次郎 造 茶碗 東陽坊」落札値	50,000
数寄者 糸十右衛門 お茶入	500,000
小袖45点+染め替14反 (623年)	13,113
小袖+反替等340点	250,000
京の難波屋九郎左衛門 大名貸金	16,818,182
越後屋 (紺三越) 売上額 (日)	15,000
魚河岸 (紺築地) の総売上額 (日)	100,000

吉宗期の幕府予算は、約2,900億円

年収2,200万円の大奥は賄賂が1億円！

加賀藩の参勤交代は準備含め4.25億円

大名は商家から借金！（170億

越後屋の1日売上1,500万円（1Fなので）、魚河岸の売上は、1日1億円！

※ 江戸末期になると、幕府、諸藩とも商人に金を借り、首が回らなかった！！！！

どうでした？

江戸時代の生活と現在の生活、

どこが違いましたか？

車、家電、通信、高度医療・・・はなかったけど、
それなりに豊かな生活だったと
思いませんか？

もしかしたら、
現在よりも物質的平等感が高く、
庶民の自由は確保され、
民主主義のレベルは高く、
どの階層も階層ごとのモラルを持っていた、
そんな社会だったかも知れません。

※ 中央政府（幕府）、地方政府（諸藩）の財政状況も今とよく似ている???

江戸時代は、人類史の中で異質 (渡辺京二を参考に)

(私の印象に残っている江戸時代の特徴を羅列する)

- 人口は3,000万人前後で不変
 - マクロ指標は不変、しかし、文化レベルはどんどん向上
(これは、J.S.ミルが考えた理想社会ではないか?)
- ほぼ完成された循環型経済
 - ほぼ完成された“3R社会”
 - 沢山のリサイクル、リペアリング業が存在
- 幕末～明治初期のインテリ外国人の印象
 - 世界を旅して、初めて“笑っている農民”を見た
 - 農地は完全に管理され、浦賀から江戸までは、言わば自然公園のようだった
 - 全国各地、全ての階層が、礼儀正しくモラルが高かった
 - 江戸城で将軍に謁見したが、あまりに質素な服装に驚いた
 - 障がい者でもちゃんと居場所が用意されていた (鎌倉鶴岡八幡宮)
 - 子どもが大切にされていた・・・その他多数の心温まるエピソード

「彼らの文化はヨーロッパ以上で、何も教えることがないことを悟った」

(早い人は数ヶ月、よほど保守的な人でも1年以内に悟った!)

※こうした江戸社会に、近代ヨーロッパを強制的に押し付けられた。しかし、日本は古来、外来文化を取り入れることは極めて上手で、かつ庶民の文化レベルが高かったため、容易に近代を吸収することが出来た。

(参考) 「地域自治＝民主的自治」の変遷、変容

公益事業	江戸時代		明治以降～現在	
	江戸等	地方	公共	民間
住民票	寺（宗門改帳）		役場・役所	
徴税	庄屋？	庄屋	税務署等	自治会等
学校	寺小屋・藩校・私塾		公立学校	私立学校
消防	火消し	（なし？）	消防署	消防団
警察	岡っ引き	（なし？）	警察署	自警団
医療	療養所	薬師	公立病院	私立病院
福祉	地域社会		行政・社協	民間組織
公共工事	商人	商人・藩	行政（⇒コンサル・土建屋）	
祭礼	地域住民			
農業インフラ	コモンズ（公共財の管理）		行政管理	個人管理
運輸輸送	北前船・中馬・籠		公的交通	民間交通
郵便・通信	飛脚		郵政・通信・IT	
上水道	藩？（河川から）	集落（河川・山水）	上水道	水道組合
下水道	金肥	肥	下水道	合併浄化

ほぼ民間



多くは行政へ、儲かるものは民間へ

続いて、江戸の数学の話

江戸が生んだ「和算」と、その生まれ方

同時代のヨーロッパの数学

- ・ ライプニッツの解析学
純粋数学として
- ・ ニュートン：物理学と、解析学
物理現象を表す手段として

では、「和算」は・・・？

- ライプニッツ(1646-1716)、ニュートン(1643-1727)に匹敵する内容
 - どちらが解析学の祖か争った形跡あり！
- 根本的違いは、個人が開発したものではないこと！！
- 全国に、「和算塾」が広まる！！
- それを集大成したのが、関孝和(1642-1709)
 - 「智」を進展させる主役は庶民！
 - 「智」の公開による急速な進歩
 - 積分概念はあったが、微分概念はなかったらしい

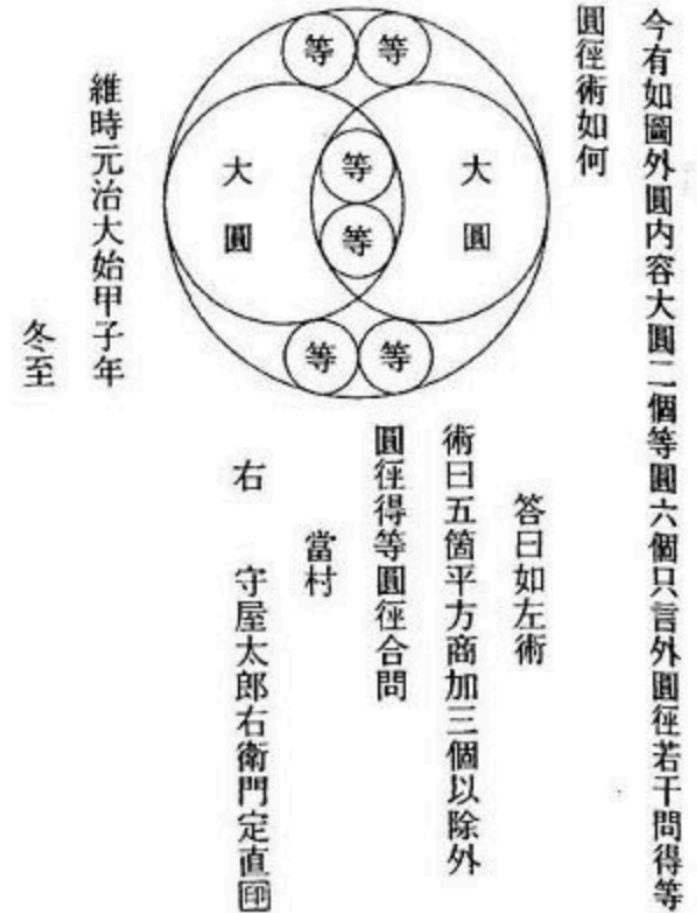
備中矢掛宿における和算

矢掛町江良の貴布禰神社の「算額」



矢掛町教育委員会

- 矢掛高校オープンスクールでは、「算額」に挑戦しているらしい！



答えの「五箇平方商加三箇以除外円径」ってわかりますか。

NHKの番組にも最近紹介された！



- 京大の学生・院生に、確か制限時間3時間与えたが、出来なかった！！

(参考) 司馬遼太郎の江戸

(『「昭和」という国家』(NHKブックス)より)

• 江戸の多様性

• 多様な三百緒藩

鍋島藩(肥前佐賀) : 強制的に勉強

成績が悪いと、家禄を減らされた!

薩摩藩 : 質素儉約、武士の気風、勉強は中学レベル

(西郷は流罪中に勉強)

• この多様性が、明治を生む土台となった

• 江戸が生んだ文化人

• 内藤湖南(南部藩(岩手)の飛び地)の文化人発掘

富永仲基(大乘仏教分析)、関孝和、工楽松右衛門(大発明

家)、山片蟠桃(無神論)、安藤昌益(環境学?)

• (参考) 司馬遼太郎は、昭和を描きたくなかった!

• 昭和前期(大正末期から昭和20年まで)のことを考えるだけで胸糞悪くなる

(この約20年は、「大本営」という組織に、魔法にかけられていた!)

(参考) 北野収 (獨協大学、農業経済) さんの見方

- 明治以降の日本語の問題
 - 現代の日本語の多くは、西洋語の翻訳
 - 方言こそ、日本語である！
- 「世間」はあるが、「コミュニティ」はない
 - 世間はあるが、社会はない
 - 『世間とは何か』 (阿部謹也、元一橋学長)
 - 個人が国家に繋がれ、地域が崩壊
 - 「世間」：人の目を気にする社会構造であり、コミュニティではない？
 - 自給的コミュニティ再生の最大の障壁
 - (江戸から昭和まで残存した「村社会」はコミュニティか?)
 - (CSA等が普及しているアメリカでは、国家よりコミュニティに対する帰属意識が高い)
 - (メキシコ等中南米には、日本の「村」ではない部族的コミュニティが残存)

いずれにせよ、
江戸・室町を学ぶことは、
日本の原点を学ぶこと

いかがでしたか？

現状の危機的状況を改善することは
とても厄介なことです。

しかし、誰かが真剣に手をつけないと、
もうすぐ滝壺に落ちてしまいます！

ただし、焦ってはダメ！

まずは、現状の問題群のルーツを探ること。
これが欠けると間違った方向に行くかもしれません！

コロナで色々ご迷惑をおかけしました！
お付き合いいただき有難う！！

なりわい塾は卒塾後がとても重要です。

また、お会いしましょう！！

幸せを実感できる生き方

「稼ぎ」 = 自分と家族の食い扶持

「務め」 = 地域貢献・ボランティア

(お役・祭り・結い・普請・町づくり・**お金の世界**)

町内会・PTA・消防団・青年

団・・・)

「暮らし」 = 日々の生活・自分の世界

家庭も稼ぎも顧みないNPO人間

いわゆる「仕事人間」

「暮らし」にこだわる趣味人

務め

暮らし

世間との関係性・共感

自分・家族の世界

